

高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃貸借

建築図					電気設備図				機械設備図		
図面番号	図面名称	SCALE	図面番号	図面名称	SCALE	図面番号	図面名称	SCALE	図面番号	図面名称	SCALE
A4-01	付近見取図・全体配置図	A1:1/600 A3:1/1200	A4-11	仮設校舎 鉄筋コンクリート構造配筋標準図	A1:NON A3:NON	E4-01	仮設校舎 構内配線図	A1:1/100 A3:1/200	M4-01	仮設校舎 空調換気設備 平面図	A1:1/75 A3:1/150
A4-02	仮設校舎配置計画図	A1:1/100 A3:1/200	A4-12	仮設校舎 鉄骨構造標準図	A1:NON A3:NON	E4-02	仮設校舎 幹線設備 1階平面図	A1:1/100 A3:1/200	M4-02	仮設校舎 空調換気設備 平面図	A1:1/75 A3:1/150
A4-03	仮設校舎 設計概要・仕上表	A1:NON A3:NON	A4-13	仮設校舎 基礎伏図・基礎詳細図	A1:1/150・1/20 A3:1/300・1/40	E4-03	仮設校舎 動力設備 1階平面図	A1:1/100 A3:1/200			
A4-04	仮設校舎 建物求積図	A1:1/100 A3:1/200	A4-14	仮設校舎 部材リスト	A1:1/20 A3:1/40	E4-04	仮設校舎 電灯設備 1階平面図	A1:1/100 A3:1/200			
A4-05	仮設校舎 平面図	A1:1/75 A3:1/150	A4-15	仮設校舎 梁伏図	A1:1/100 A3:1/200	E4-05	仮設校舎 コンセント設備 1階平面図	A1:1/100 A3:1/200			
A4-06	仮設校舎 立面図・断面図	A1:1/75 A3:1/150	A4-16	仮設校舎 軸組図 1	A1:1/100 A3:1/200	E4-06	仮設校舎 情報設備・電話設備 1階平面図	A1:1/100 A3:1/200			
A4-07	仮設校舎 矩形図	A1:1/20 A3:1/40	A4-17	仮設校舎 軸組図 2	A1:1/100 A3:1/200	E4-07	仮設校舎 放送設備 1階平面図	A1:1/100 A3:1/200			
A4-08	仮設校舎 建物表・建具キープラン・法チェック	A1:1/100・1/50 A3:1/200・1/100	A4-18	仮設校舎 鉄骨詳細図	A1:1/40・1/20 A3:1/80・1/40	E4-08	仮設校舎 自動火災報知設備 1階平面図	A1:1/100 A3:1/200			
A4-09	仮設校舎 渡り廊下 矩形図	A1:1/25 A3:1/50									
A4-10	仮設校舎 構造設計特記仕様書	A1:NON A3:NON									

検印

特記事項

株式会社別当設計
1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号
1級建築士登録第278449号 別当 幸宣

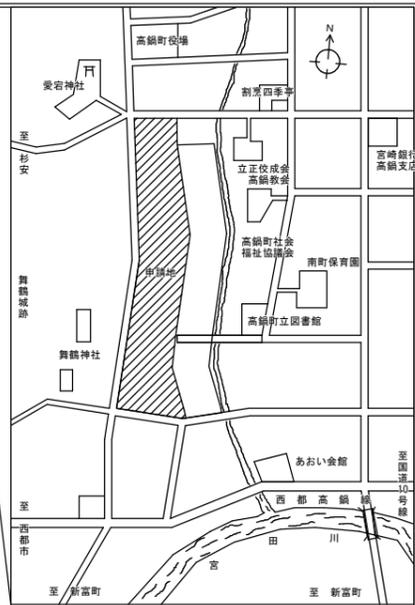
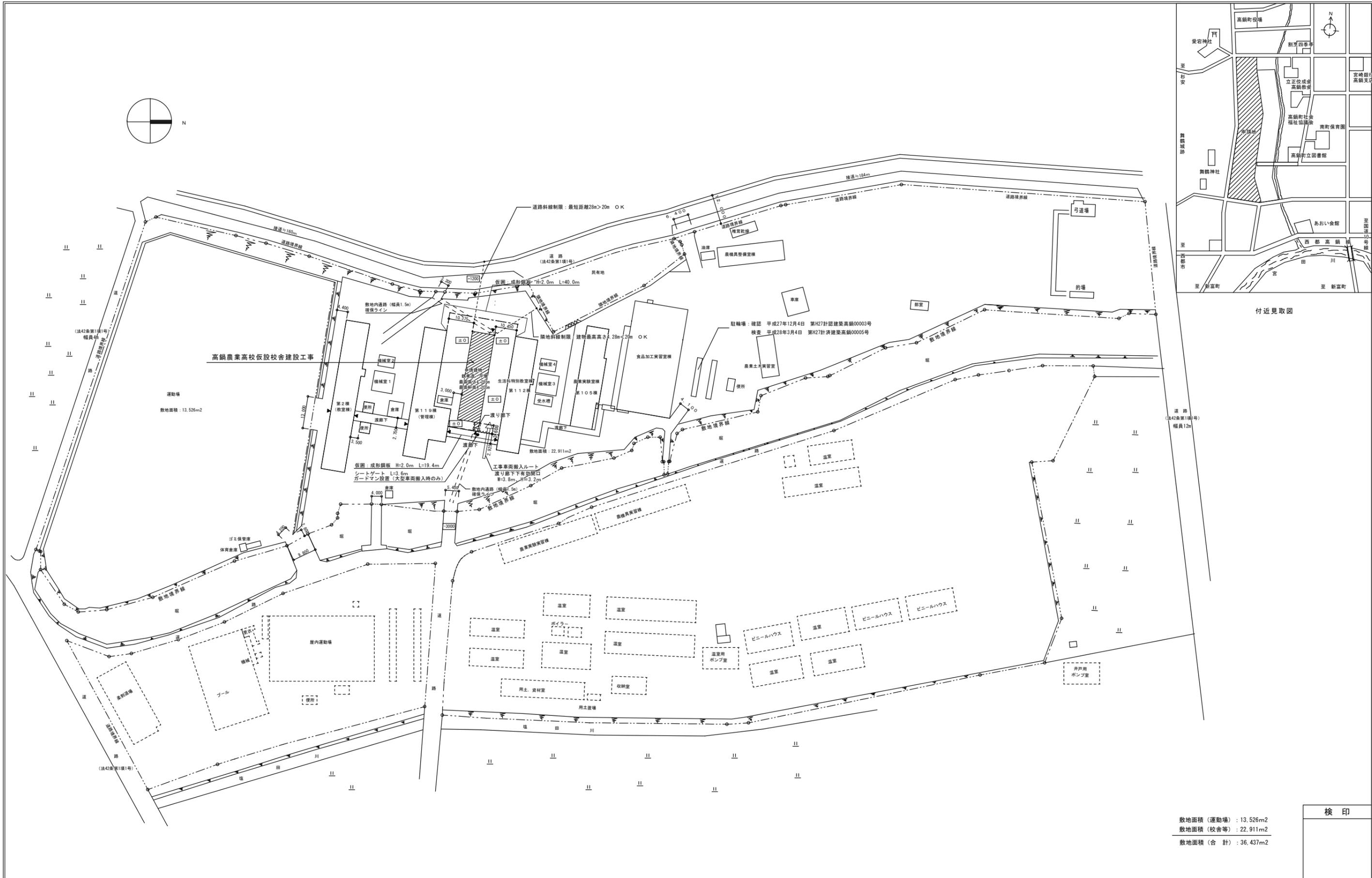
管理建築士 管理技術者 設計者

工事名称
高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃貸借
図面名称
タイトル・図面リスト

設計年月日
令和4年10月
縮尺
A1:S=1/1
A3:S=1/2

図
図面番号
A4-00

工事種別
改修工事(建築主体)

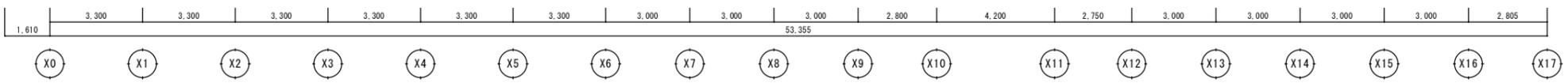
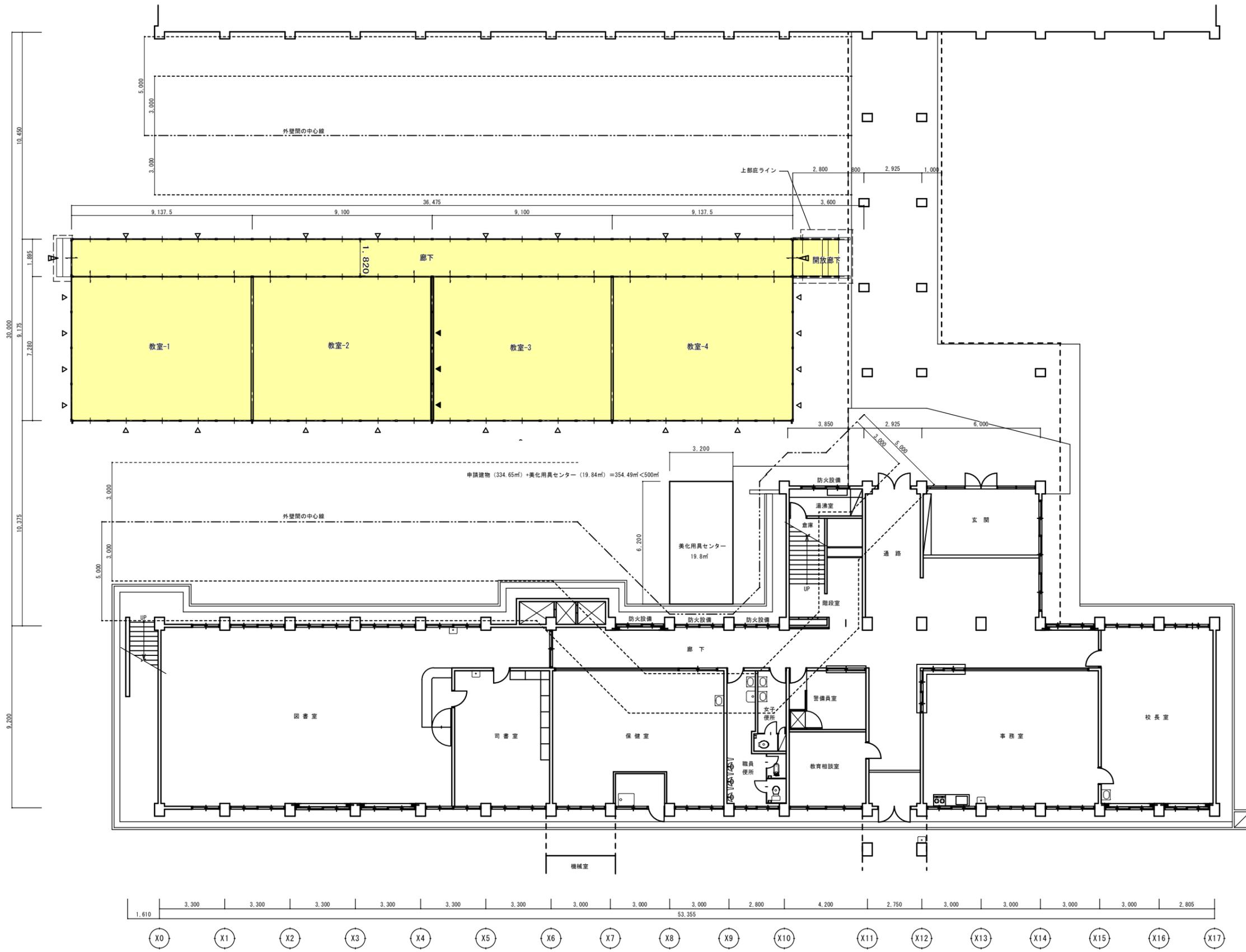


付近見取図

敷地面積 (運動場) : 13,526m²
 敷地面積 (校舎等) : 22,911m²
 敷地面積 (合計) : 36,437m²

検印

特記事項	平成28年3月4日 第H27計済建築高鍋00005号 検査済証より、本敷地内建築物は建築基準法適合と見なす			管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称 高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃貸借	設計年月日 令和4年10月	検査	工事種別 改修工事(建築主体)
	株式会社別当設計 1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号 1級建築士登録第278449号 別当 幸宣	図面名称 仮設校舎 全体配置図・付近見取図	縮尺 A1 : S = 1/700 A3 : S = 1/1400							



1階平面図

※既存建築物で延焼ラインにかかる外部建具はすべての階で防火設備（別途既存図面添付）

検印

特記事項	株式会社別当設計	管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称	設計年月日	校	図	工事種別
	1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号 1級建築士登録第278449号 別当 幸宣				高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃借	令和4年10月			
					図面名称	縮尺			図面番号
					仮設校舎配置計画図	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200			A4-02

設計概要

一般事項	工事名称	高鍋農業高校仮設校舎建設工事						地域指定	用途地域	第1種住居地域	建ぺい率	60 %	容積率	200 %
	工事場所	宮崎県児湯郡高鍋町1339-2							防火指定	指定無し	積雪	30 cm	地耐力	50 kN/m ² 長期(仮定)
建物概要	規模	主要用途	高等学校(仮設教室)	階数	平屋	工事種別	新築(敷地内増築)	面積	延床面積	334.65 m ²	1階床面積	334.65 m ²		
		耐火建築物の種別	一般建築物	最高高さ	4.285 m	最高軒高	4.205 m		建築面積	339.96 m ²				
構造概要	基礎形式	鉄筋コンクリート造布基礎						内部軸組	床組	1階:床パネル:合板t=12 (防腐防蟻処理)				
										栈木90×30 @303 (防腐防蟻処理)				
	軸部	軽量鉄骨造(ブレース構造)								大引: C-75×45×15×2.3 @910				
										鋼製束(敷鉄板)				
						防湿シート t=0.15								

外部仕上表

屋根	ボルトレスルーフ 折板:ガルバリウム素地鋼板 t=0.6 H=79.5 (NM-8697)						板金	土台水切:ガルバリウム素地鋼板 t=0.35 ベース水切:ガルバリウム素地鋼板 t=0.35					
	裏面ポリエチレンフォーム貼 t=4 (室内のみ)							底 折板:ガルバリウム素地鋼板 t=0.6					
外壁	外壁パネル:サンドイッチパネル t=40						軒樋	折板表し					
	外側:カラーガルバリウム鋼板 t=0.3							軒樋:塩ビ製 U120					
	内側:カラーガルバリウム鋼板 t=0.3							縦樋:塩ビ製 60φ					
	芯材:硬質ウレタンフォーム							塗装 鉄骨構造体:錆止め塗装					
天井	LGS19下地						渡廊下	別図参照					
	グラスウール t=100 10Kg/m 充填(小屋裏のみ)												
外部巾木	コンクリート打放し						その他						
ポーチ	土間コンクリート金鍍仕上げ												

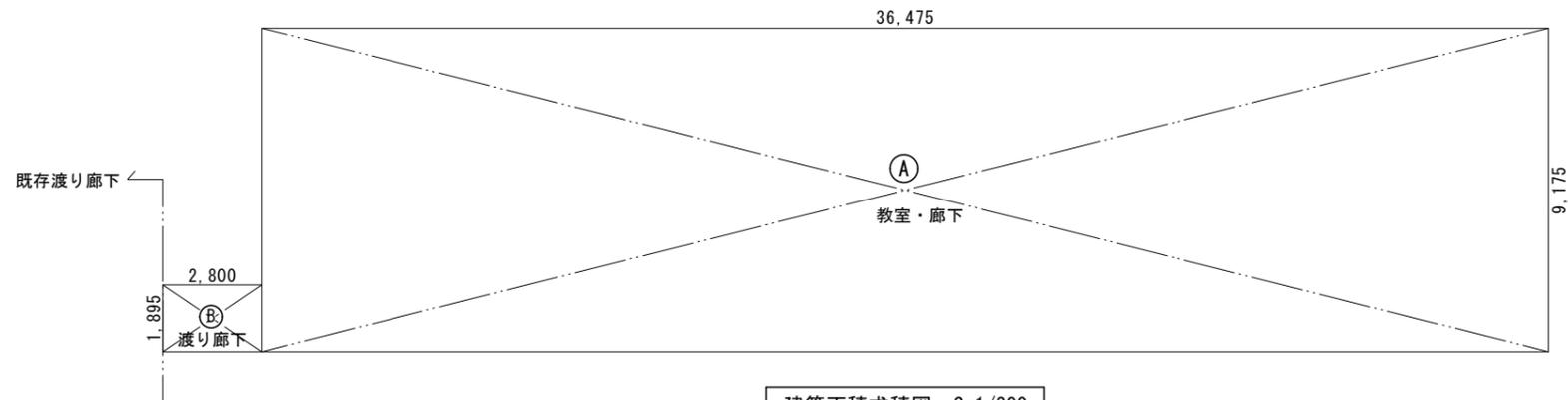
室内仕上表

※ 防火上主要間仕切り壁は、法第85条第6項及び令第147条第1項の規定により緩和事項とする

階数	室名	床	壁	天井	床高	天井高	備考
1階	普通教室1	長尺塩ビシート t=2	外壁側) カラーガルバリウム鋼板 t=0.3 (外壁パネル表し)	ジブトーン t=9.5	GL+487	3.020	廊下・教室間扉:鍵付き カーテンレール・カーテン設置含む
		下地:ラワン合板 t=4.0	間仕切壁)[廊下間]: カラーガルバリウム鋼板 t=0.3 [教室間]: 軽鉄下地 + 化粧PB t=9.5				
	普通教室2	長尺塩ビシート t=2	外壁側) カラーガルバリウム鋼板 t=0.3 (外壁パネル表し)	ジブトーン t=9.5	GL+487	3.020	廊下・教室間扉:鍵付き カーテンレール・カーテン設置含む
		下地:ラワン合板 t=4.0	間仕切壁)[廊下間]: カラーガルバリウム鋼板 t=0.3 [教室間]: 軽鉄下地 + 化粧PB t=9.5				
	普通教室3	長尺塩ビシート t=2	外壁側) カラーガルバリウム鋼板 t=0.3 (外壁パネル表し)	ジブトーン t=9.5	GL+487	3.020	廊下・教室間扉:鍵付き カーテンレール・カーテン設置含む
		下地:ラワン合板 t=4.0	間仕切壁)[廊下間]: カラーガルバリウム鋼板 t=0.3 [教室間]: 軽鉄下地 + 化粧PB t=9.5				
	普通教室4	長尺塩ビシート t=2	外壁側) カラーガルバリウム鋼板 t=0.3 (外壁パネル表し)	ジブトーン t=9.5	GL+487	3.020	廊下・教室間扉:鍵付き カーテンレール・カーテン設置含む
		下地:ラワン合板 t=4.0	間仕切壁)[廊下間]: カラーガルバリウム鋼板 t=0.3 [教室間]: 軽鉄下地 + 化粧PB t=9.5				
廊下	長尺塩ビシート t=2	外壁側) カラーガルバリウム鋼板 t=0.3 (外壁パネル表し)	ジブトーン t=9.5	GL+487	3.020		
	下地:ラワン合板 t=4.0	間仕切壁)[廊下間]: カラーガルバリウム鋼板 t=0.3 [教室間]: 軽鉄下地 + 化粧PB t=9.5					

備考	・シックハウス対象居室の内装材は全てF☆☆☆☆仕様とする。(クロス接着剤・仕上塗料・家具類・建具共)	不燃番号	化粧PB t=9.5	準不燃 QM-9072、QM-9824	検印
	・天井裏等及び換気経路でない収納は全てF☆☆☆☆仕様とする。		ジブトーン t=9.5	準不燃 QM-0524	
	・火気使用無し。				
	・クロルピリホスが添加する建築材料を使用しない。				
・消火器については別途設置(工事対象外、防火上主要な間仕切壁設置緩和の代替措置)					

特記事項	株式会社別当設計			管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称	設計年月日	図	工事種別
	1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号 1級建築士登録第278449号 別当 幸宣						高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃貸借	令和4年10月		
							図面名称	縮尺		図面番号
							仮設校舎 設計概要・仕上表	A1:S=NON A3:S=NON		A4-03

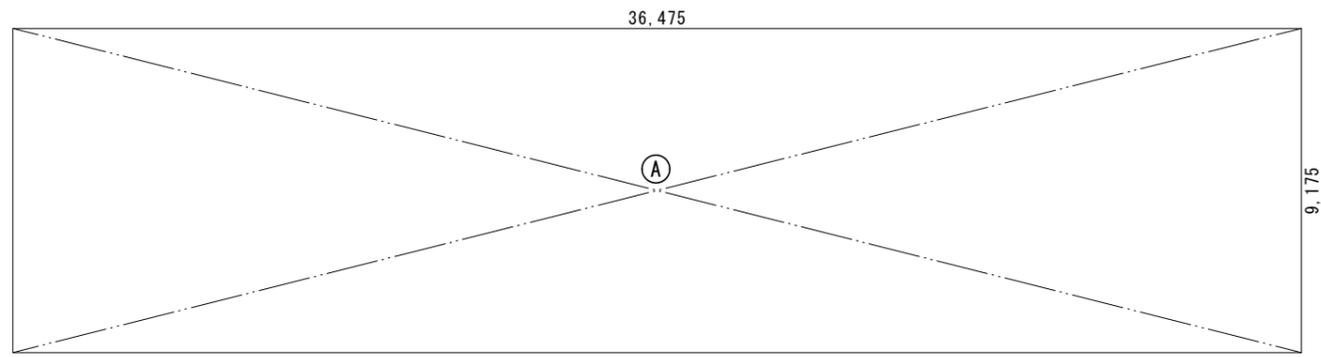


建築面積求積図 S=1/200

■求積表

①	$9.175 \times 36.475 = 334.6581$	
②	$1.895 \times 2.800 = 5.306$	
		合計 339.9641m ²
		改メ 339.96m ²

建築面積	合計 339.96m ²
------	-------------------------

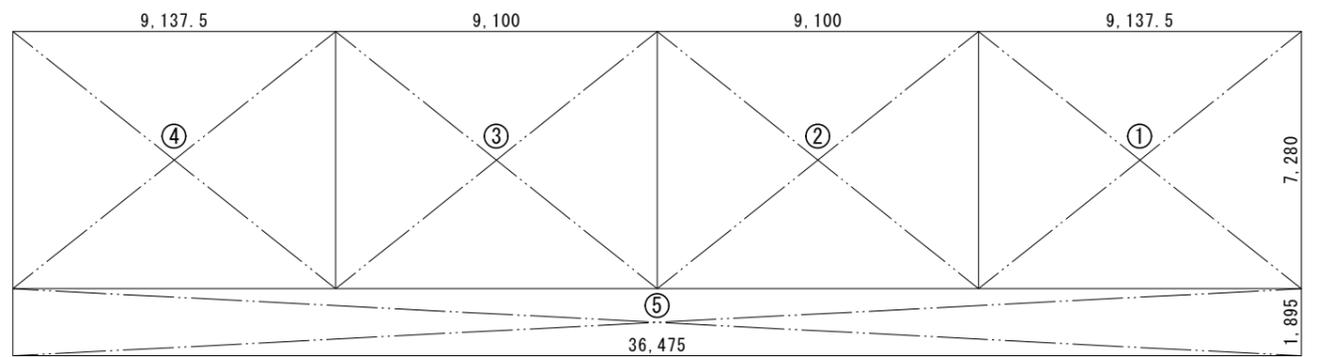


1階床面積求積図 S=1/200

■求積表

①	$9.175 \times 36.475 = 334.6581$	
		合計 334.6581m ²
		改メ 334.65m ²

延床面積	合計 334.65m ²
------	-------------------------



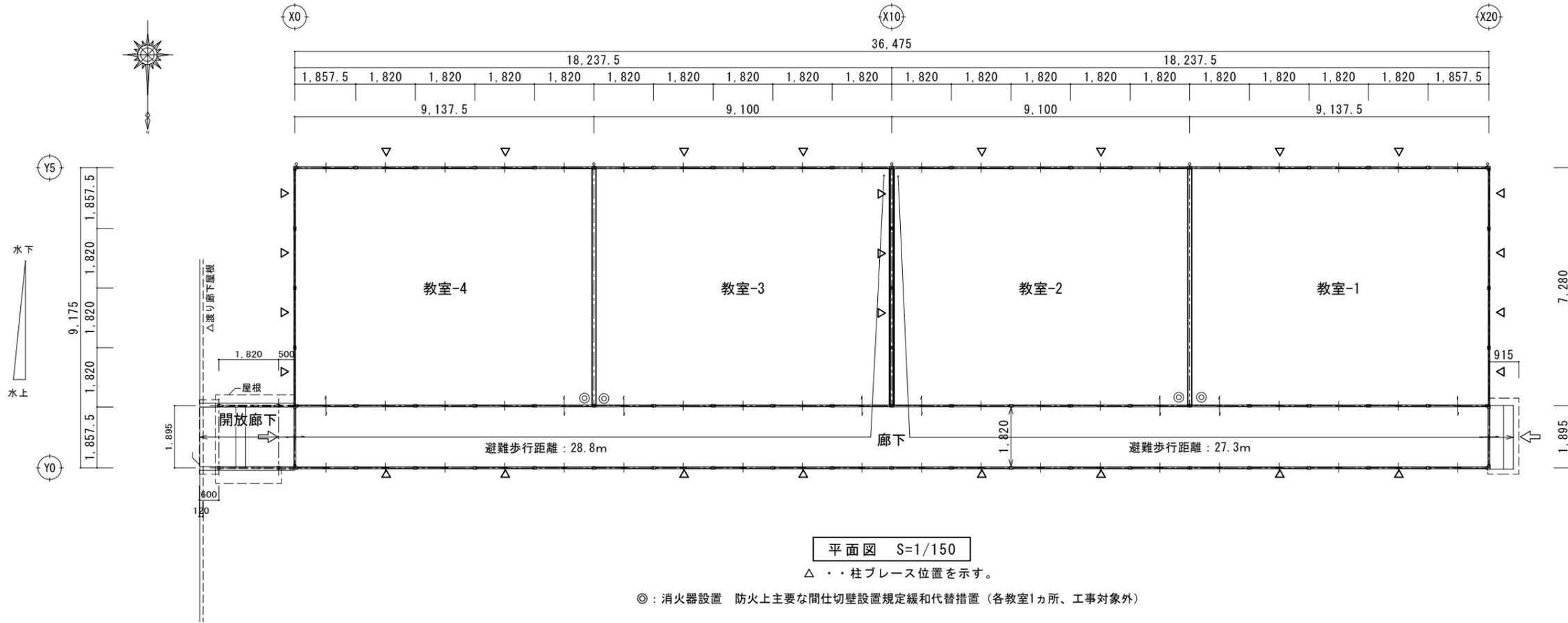
1階室面積求積図 S=1/200

■1階室面積 求積表

居室	① 教室-1	$7.280 \times 9.1375 = 66.5210$	66.5210
居室	② 教室-2	$7.280 \times 9.100 = 66.2480$	66.2480
居室	③ 教室-3	$7.280 \times 9.100 = 66.2480$	66.2480
居室	④ 教室-4	$7.280 \times 9.1375 = 66.5210$	66.5210
	⑤ 廊下	$1.895 \times 36.475 = 69.1201$	69.1201
		合計 334.6581m ²	
		改メ 334.65m ²	

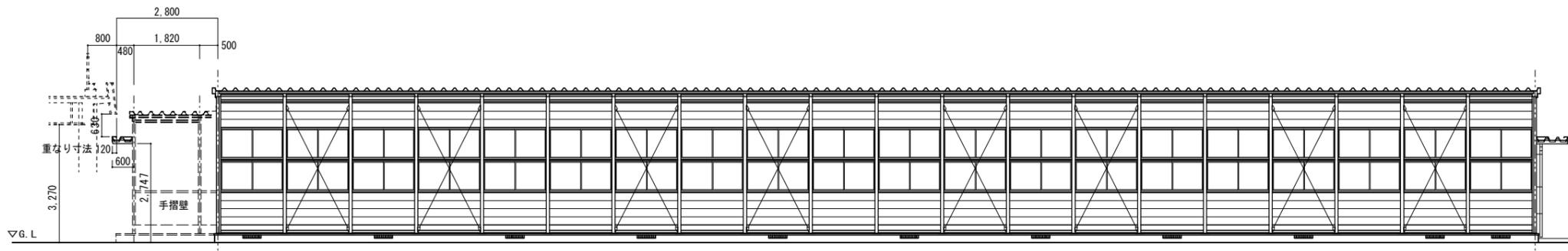
検 印

特記事項	株式会社別当設計	管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称	設計年月日	検 印	工事種別
	1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号 1級建築士登録第278449号 別当 幸宣				高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃貸借	令和4年10月		
					図面名称	縮尺		図面番号
					仮設校舎 建物求積図	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200		A4-04



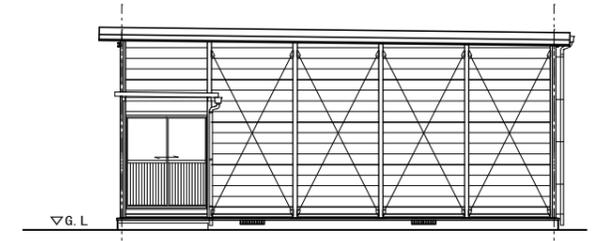
検印

特記事項	株式会社 別当設計 1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号 1級建築士登録第278449号 別当 幸宣	管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称 高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃借	設計年月日 令和4年10月	図	工事種別 改修工事(建築主体)
					図面名称 仮設校舎 平面図	縮尺 A1 : S=1/75 A3 : S=1/150		図面番号 A4-05

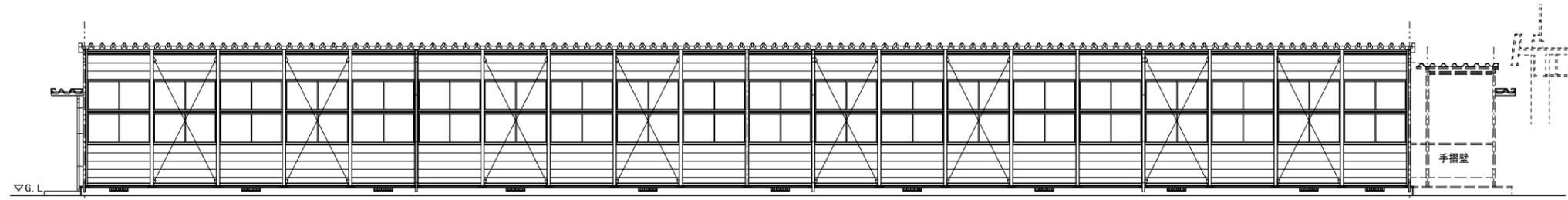


※渡り廊下：規格寸法柱

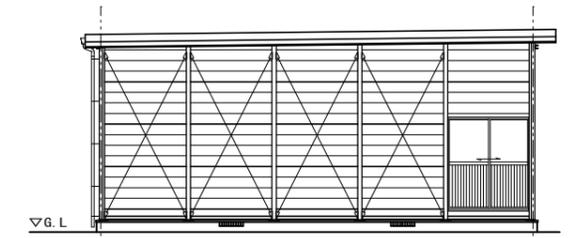
Y0通 立面図 S=1/150



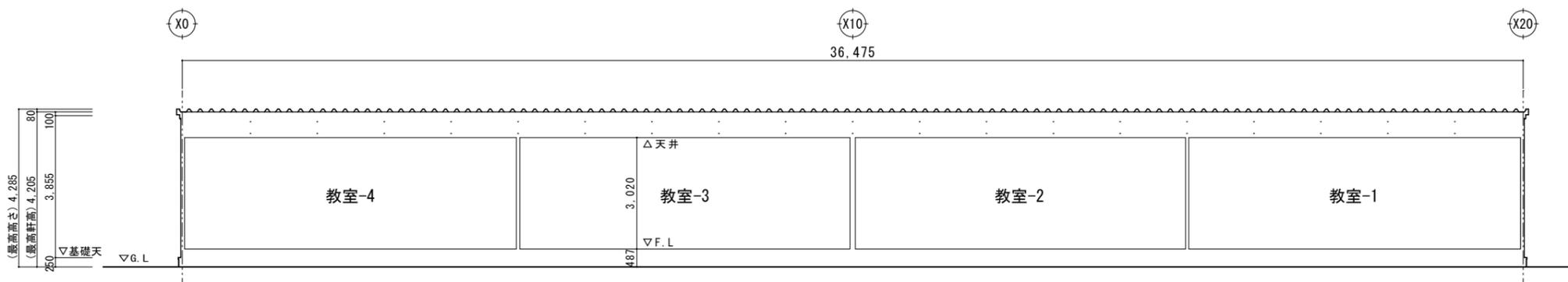
X20通 立面図 S=1/150



Y5通 立面図 S=1/150



X0通 立面図 S=1/150



Y通 断面図 S=1/150

15,000 (風致地区第2種高さ)

▽G.L.

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

80

100

250

4.285

4.205

3.855

▽基礎天

▽F.L.

△天井

▽G.L.

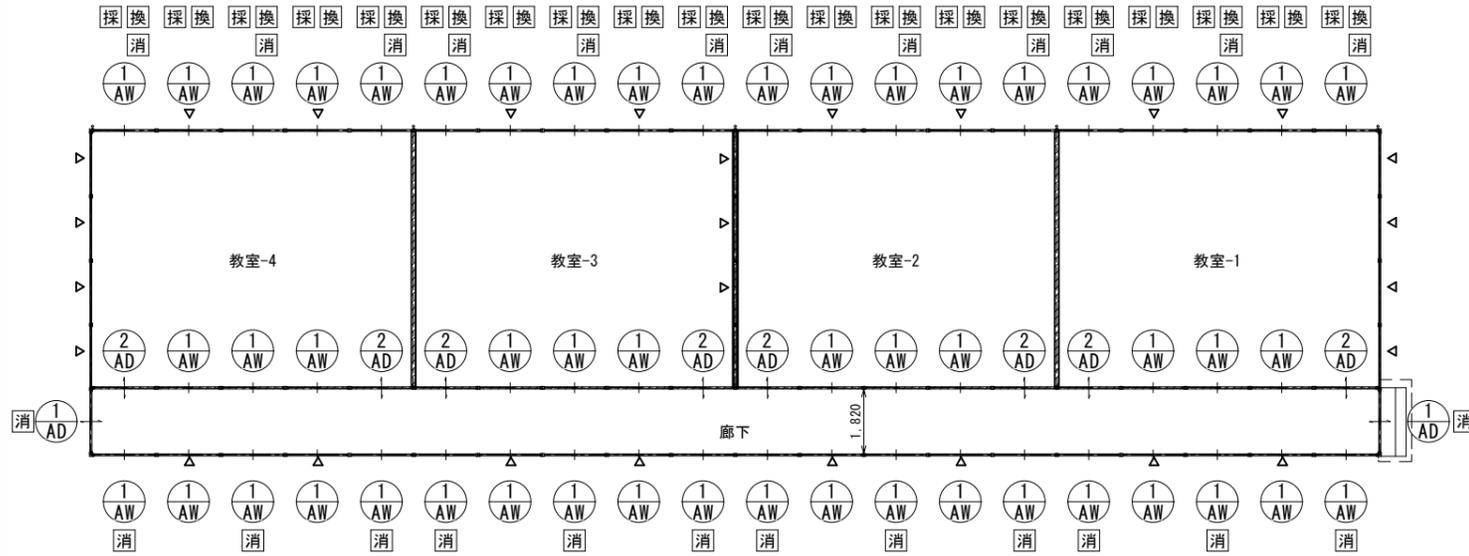
80

100

250

4.285

4.20



- 探・・・採光検討開口部
- 換・・・換気検討開口部
- 排・・・排煙検討開口部
- 消・・・消防検討開口部

1階建具キープラン図 S=1/200

建具表 S=1/100

形式	① AD 引違い戸	② AD 引違い戸 ※内装下枠タイプ	① AW 引違い窓		
数量: 2		数量: 8		数量: 52	
仕上	アルミ製サッシ (シルバー) 枠見込: 65.4	アルミ製サッシ (シルバー) 枠見込: 65.4	アルミ製サッシ (シルバー) 枠見込: 61		
硝子	スクールテンパ 4mm	スクールテンパ 4mm	スクールテンパ 4mm		
金物	鍵錠 (外部: シリンダー、内部: サムターン)、引手、付属金物一式	付属金物一式 (鍵付き)	クレセント、付属金物一式		
備考	腰板: アルミパネル	腰板: アルミパネル			

法チェック

※計算なき建具は充足する為除外。

居室	床面積 A	必要採光面積 A/5	建具記号	採光有効面積				判定
				W	H	個数	合計	
教室-1	66.52 m ²	13.31 m ²	AW 1	1.696	× 0.800	× 2段 × 1.0 × 5	13.56 m ²	0.K
教室-2	66.24 m ²	13.25 m ²	AW 1	1.696	× 0.800	× 2段 × 1.0 × 5	13.56 m ²	0.K
教室-3	66.24 m ²	13.25 m ²	AW 1	1.696	× 0.800	× 2段 × 1.0 × 5	13.56 m ²	0.K
教室-4	66.52 m ²	13.31 m ²	AW 1	1.696	× 0.800	× 2段 × 1.0 × 5	13.56 m ²	0.K

居室	床面積 A	必要換気面積 A/20	建具記号	換気有効面積				判定
				W	H	個数	合計	
教室-1	66.52 m ²	3.33 m ²	AW 1	1.696 / 2	× 0.800	× 2段 × 5	6.78 m ²	0.K
教室-2	66.24 m ²	3.32 m ²	AW 1	1.696 / 2	× 0.800	× 2段 × 5	6.78 m ²	0.K
教室-3	66.24 m ²	3.32 m ²	AW 1	1.696 / 2	× 0.800	× 2段 × 5	6.78 m ²	0.K
教室-4	66.52 m ²	3.33 m ²	AW 1	1.696 / 2	× 0.800	× 2段 × 5	6.78 m ²	0.K

消防法有窓階判定

階	床面積 A	必要開口面積 A/30	建具記号	開口有効面積				判定
				W	H	個数	合計	
1階	339.05 m ²	11.31 m ²	AD 1 AW 1	1.696 / 2	× 1.912	× 2 =	3.24	
				1.696 / 2	× 0.800	× 24 =	16.28	
							19.52 m ²	有窓階

検印

特記事項

株式会社別当設計
 1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号
 1級建築士登録第278449号 別当 幸宣

管理建築士 管理技術者 設計者

工事名称
 高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃借
 図面名称
 仮設校舎 建具表・建具キープラン図・法チェック

設計年月日
 令和4年10月
 縮尺
 A1: S=1/100・1/50
 A3: S=1/200・1/100

工事種別
 改修工事(建築主体)
 図面番号
 A4-08

構造設計特記仕様

※修正箇所は下線を引くこと
適用は ■ 印を記入する。

1. 建築物の構造内容
(1) 建築名称・場所 高鍋農業高等学校仮設校舎建設工事
(2) 工事種別 ■新築 □増築 □増改築 □改築
(3) 構造設計一般建築士の関与 □必要 ■必要としない
(4) 構造種別 □木造(W) □補強コンクリートブロック造(CB)
(5) 階数 地下 1階 地上 1階 塔屋 1階
(6) 主要用途 高等学校(仮設建築物)
(7) 屋上付属物 □高架水槽 -kN □キュービクル -kN
(8) 特別な荷重 □エレベータ 人乗(マシルームレス ロープ式・油圧式) □リフト -kN
(9) 付帯工事 □門弁 □擁壁 □駐輪場 □機械式駐車場
(10) 増築計画 □有() □無(■)
(11) 構造計算ルート X方向ルート (1-2) Y方向ルート (1-2)
(12) 設定条件 最深積雪量30cm以下 単位積雪重量20N/m/cm
基準風速34m/s以下 地表面粗度区分 III

2. 使用建築材料表・使用構造材料一覧表
(1) コンクリート (JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308)
適用箇所 種類 設計基準強度 Fc=N/cm²
スランプ cm 備考
擁コンクリート ■普通 Fc=18 15
土間コンクリート ■普通 Fc=21 15
基礎・基礎梁 ■普通 Fc=21 3 6 18
柱、梁、床、壁 ■普通 □軽量 Fc=21 3 6 18 比重
押えコンクリート □普通 □軽量
細骨材の種類 ■砂 □山砂 □人工 □
粗骨材の種類 ■砂利 □碎石 □人工 令72条第一号に
水の区分 ■水道水 □地下水 □工業用水 適合すること
混和材料の種類 (JIS A 6204) ■減水剤 □高性能減水剤 □
構造体強度補正値を保証する
材齢、養生 ■材齢 (■28日 □56日 □)
■養生 (□現場封かん ■現場水中 ■標準)

※θ: コンクリート打込みから材齢28日までの予想平均気温
上記のθの範囲は普通ポルトランドセメント、混合セメントA種を用いた場合である。
※日平均気温の平均値が25℃を超える期間にコンクリートを打ち込む場合、
構造体強度補正値(S)=6とする。

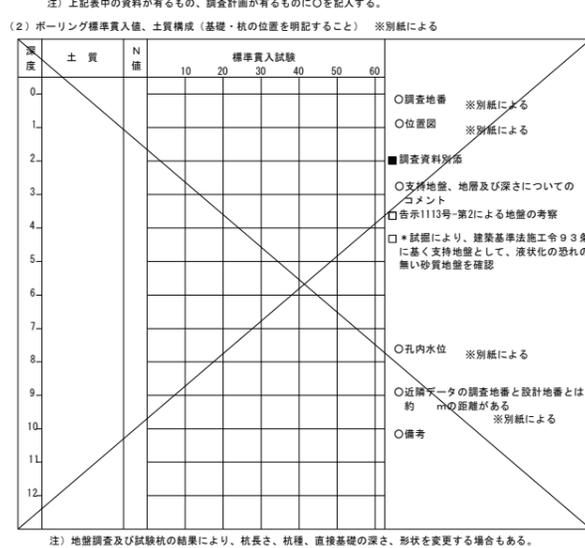
(2) コンクリートブロック (JIS A 5406)
□A種 □B種 □C種 厚□100 □120 □150 □190 使用箇所(□ □ □)
(3) 鉄筋
種類 径 使用箇所 継手工法
異形鉄筋 (JIS G 3112) ■SD295 D16以下 基礎 ■重ね継手
□ガス圧接継手
□溶接継手
□機械式継手
高強度せん断補強筋 □材質
□大径認定番号 MSRB- 各継手の使用詳細については
丸鋼 (JIS G 3112) □SR235 JIS G 本仕様5. (2)鉄筋の項の鉄筋
溶接金網 (JIS G 3551) □ 継手等の■にて表示すること

(4) 鉄骨
種類 使用箇所 現場溶接 JIS規格・認定番号等
■SS400 □SM400 □SN400 A, B, C 梁 □有 ■無 JIS G 3101
■STR400 □STR490 柱 □有 ■無 JIS G 3466
□BCR295 □BCP235 □BCP235 □有 □無 大径認定品 認定番号 MSTL-
□SM490 A □SN490 B □SN490 C □有 □無 JIS G
■SS400 □SH400L □SH400 母屋、梁材、柱、梁 □有 ■無 JIS G 3350 / JIS G 3353
■SNR400B プレース □有 ■無 JIS A 5540

(5) ボルト
□高力ボルト
□F10T (JIS B1186) □F8T 国土交通大臣認定品 (MRLT-0050同等品) (□M16, □M20, □M22, □M24)
□ボルト (JIS B1180) ■M12 ■M16 □M20 ■強度区分・4.8 ■強度区分10.9
※プレース部は、JIS A 5540の場合F8Tを、大臣認定品の場合強度区分10.9を使用し、それ以外の部位は
強度区分・4.8を使用する
■アンカーボルト
■SS400 20M 定着L= 330mm ナット (□シングル, ■ダブル)
■SS400 16M 定着L= 255mm ナット (□シングル, ■ダブル)
□頭付スタッドボルト
φ= L= mm 使用箇所(□柱 □大梁 □小梁)
φ= L= mm 使用箇所(□柱 □大梁 □小梁)

(6) 屋根、床、壁
材 型 式 厚 その他 使用箇所 仕様・構法
ALC (JIS A 5416) 厚 □壁 □床版 □スライド □ボルト止め
□ロッキング □
折板 H=79.5 厚 0.6 ■覆板 □ □
特殊デッキプレート (JIS G 3352) 型式 厚 □床版 □ □
デッキプレート (JIS G 3352) 型式 厚 □床版 □ □
キーストーンプレート (JIS G 3352) 型式 厚 □床版 □ □

3. 地盤
(1) 地盤調査資料と調査計画
□有(□敷地内□近隣) □無(調査計画□有□無)
調査項目 資料有り 調査計画 調査項目 資料有り 調査計画 調査項目 資料有り 調査計画
ボーリング調査 □ 静的貫入試験 □ 標準貫入試験 □
水平地盤反力係数の測定 □ 土質試験 □ 物理探査 □
試験能(支持層の確認) □ 平板載荷試験 □ 液状化判定 □
3D-ディメンジョン □ 現場透水試験 □ PS検閲 □
注) 上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。



4. 地業工事
(1) 直接基礎 □ベタ基礎 ■布基礎 □独立基礎 試験能 □有 ■無
深さ GL-0.3~0.5m 長期許容支持力 50 kN/m2 載荷試験 □有 ■無
(2) 地盤改良 □洗淨混合処理工法 □深層混合処理工法 □
深さ GL- m、 長期許容支持力 kN/m2 載荷試験 □有 □無
注) 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針: 日本建築センター2002」を参考とする

杭 種類 材料 施工法 備考
□RC □PRC PRC (□I種 □II種 □III種) □打ち込み
□PHC □H鋼 PHC (□A種 □B種 □C種) □埋込み (セメントミルク工法)
□鋼管 □摩擦杭 鋼材 □SS400 □SKK400 □ □
□SC杭 □JIS □
□場所打ち コンクリート杭 Fc= N/m2 □オールケーシング □拡底杭
Fq= N/m2 □リバースサーキュレーション
スランプ cm以下 □アースドリル □ミニアース
セメント量 kg/m3 □BH □
単位水量 kg/m3 □深礎 (□手掘 □機械掘)
鉄筋 主筋 SD
HOOP SD

杭仕様 □施工計画承認 □杭施工結果報告書
試験杭 □有 □無 (□打ち込み・□載荷・□既測定) 本
杭径 (mm) 設計支持力 (kN) 杭の先端の深さ (m) 本数 特記事項
WU+0306 - GL- -

5. 鉄筋コンクリート工事 (施工方法等計画書)

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度 (Fc) が
36 N/mm2 以下に適用し、鉄筋の材質は SD390 以下に適用する。
(1) コンクリート
■コンクリートは JIS A 5308 (レディーミックスコンクリート) に適合する JIS認証工場製の製品とし、施工に際し
ては標準図に記載されている事項を除き、JASS 5 による、JASS 5は鉄筋コンクリート工事2015年度版とする。
■耐久設計基準強度 Fcd ■一般 □標準 □長期
■セメントは、JIS R 5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
■調合計画は、工事開始前に工事監督者の承認を得ること。
■寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など
必要事項について、工事監督者の承認を得ること。
■フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術センターの技術評価を
受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真 (カラー) を
保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて
3回行い、その平均値を試験値とする。
■構造用コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法はJASS 5T-603 によることとし、供試体は現場水中養生、
または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。
また、打ち込み量が 150m3 を超える場合は 150m3 ごとまたは、その半数ごとに1回を標準とする。
1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。
なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4通用に3本を用いる。
■ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さはコ
ンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送機または同等以上の技能を有
する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打撃時間間隔の限度は、外気温が 25℃未満の場合は
150 分以内、25℃以上の場合は 120 分以内とする。
■コンクリート打ち込み中及び打ち込み後5日間は、コンクリートの温度が2度を下らないようにする。
■乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。

(2) 鉄筋
■鉄筋は JIS G 3112 の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様
に、JASS 5 による。
□高強度せん断補強筋は、JIS G 3137 に規定されるD種1号適合品とする。
■鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配
筋標準図 (1) (2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」による。
鉄筋継手工法
(1) 引張力最小部位 (2) (1) 以外の部位 (注)
鉄筋の径
■重ね継手 ■40d □35d □()d ■D (19) 以下
□圧接継手 □告示1463号第2項各号 □ □D () 以下
□溶接継手 □告示1463号第3項各号 □ □D () 以下
□機械式継手 □告示1463号第4項各号 □ □D () 以下
注) (1) 以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築
センター等の認定・評定等を取付た継手工法等の等級で、構造計算にあたって「鉄筋継手使用基準 (建築物
の構造関係技術基準解説書 2007)」によって検討した部材の条件・仕様によること。
□D19未満は、すべて重ね継手とする。
□継手部分の施工要領は 社) 日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」(ガス圧接継手工事、溶接継手工事、
機械式継手工事) による。
継手部の検査方法: ・外観検査 載荷・引張試験 有 □ 無 □ 超音波探傷試験 有 □ 無 □
ガス圧接部分の検査は超音波探傷試験によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の
試験は5本以上とする。
(1ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所で 200 箇所程度とする)
□柱の帯筋 (HOOP) の加工方法は、□H型 (タガ型) □W型 (溶接型) □S型 (スパイラル型) とする。
■コンクリート及び鉄筋の試験は下記の試験機関で行うこと。
試験機関名-工事監督者が指定する試験機関
代行業者名-工事監督者が指定する代行業者
代行業者とは、試験、検査に伴う業務を代行する者という。

(3) 型枠
■材料 合板厚 12 mm を標準とする。 ■施工 JASS 5 による。
■型枠存置期間
種類 せき板 支柱
部位 基礎、梁、柱、壁 スラブ下、梁下 スラブ上 梁下
セメントの種類 早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高強ポルトランドセメント 高強ポルトランドセメント
高強ポルトランドセメント A種 シリカセメント A種
存置期間の平均気温 15℃以上 2 3 4 6 8 17 28
5℃~15℃ 3 5 6 10 12 25 28
5℃未満 5 8 10 16 15 28 28
コンクリートの圧縮強度 5.0 N/mm2 設計基準強度の50% 設計基準強度の85% 設計基準強度の100%

注1 片持ち梁、座、スパン9.0 m以上の梁下は、工事監督者の指示による。
注2 大梁の支柱の盛りかえは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。
注3 支柱の盛りかえは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。
注4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注5 支柱の盛りかえは、小梁が終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注6 直上層に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱 (大梁の支柱を除く) の盛りかえを行わないこと。
注7 支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6. 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
■日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
■社) 日本鋼構協会「建築鉄骨工事技術指針」
□鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」
(2) 工事監督者の承認を必要とするもの
□製作工場 □製作係領書 □作図 □施工計画書
■部材の加工は、メーカー標準仕様に基づき(一貫生産の為、部材、接合部の加工詳細図は物件ごとに作成しない。
■材料規格証明書※、または試験成績書
■鋼材 □高力ボルト □特殊ボルト □頭付スタッド
※規格品証明書・原本相当規格品証明書・現品証明書
□社内検査表 □
(3) 工事監督者が行う検査項目
(■印以外の項目の検査結果については、工事監督者に報告すること)
□現寸検査 □組立・開先検査 □製品検査 □建方検査
(4) 接合部の溶接は下記によること
■平成12年建設省告示第1464号第二号 イ、ロ
■鉄骨造等の建築物の工事に係る東京都取扱要綱
□日本建築学会「溶接作業基準、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」
■日本建築学会「鉄骨工事技術指針 工事現場施工編」
(5) 接合部の検査
■溶接部の検査 (検査結果は後日工事監督者に報告すること)

検査箇所 検査方法 検査率又は検査数 備考
完全溶込み溶接部 (突合せ溶接) 外観検査 (※) 100% 100% 100% ※平成12年建設省告示
第1464号第二号による
(自視及び計測)
超音波探傷試験 100% 100% 100%
内質検査 (注) □硬さ試験 100% 100% 100%
□示温塗料塗布 100% 100% 100%
□マクロ試験・その他 100% 100% 100%
■隅肉溶接部 外観検査 (※) 100% 100% 100%
第三者検査機関名 (都知事登録 号)
第三者検査機関とは、建築主、工事監督者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した
検査会社をいう。

注1) 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること
□高力ボルトの検査 (検査結果は後日工事監督者に報告すること)
軸力導入試験 □要 ■否 高力ボルトすべり係数試験 □要 ■否
□一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、再回り等の異常が無いことを確認する。
□トルシヤ形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。

(6) 防錆塗装
■禁止品のペイント
□JIS K 5621, ■JIS K 5674
SH400L: 一般錆止めペイント+シングル1回塗り
その他の鋼材: 一般錆止めペイント製作工場1回塗り (JIS K5621 2種 相当)

7. 設備関係
■建築物の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
■建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防錆のための有効な措置を講じること。
□建築物に設ける屋上からの突出する水栓・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して
□構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
□煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造とすること。
■設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
■設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
□エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていること。
■特記以外の受災汎用は原則として設けない。
■床スラブ内に設備配管等埋込む場合は、スラブ厚さの1/3以上とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm
以上を原則とする。
■建築物に設ける給水、排水その他の配管設備 (給湯設備を除く) は、
■風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
■建築物の部分貫通して配管する場合においては、当該貫通部に配管スリーブを設ける等
□有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
■管の伸縮その他の変形により、当該管に損傷が生ずる場合において、伸縮継手又は可換継手
□設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
■管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等
有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
■給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造と
すること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない
構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。

8. その他
■諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
■各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監督者に報告すること。
■必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
■【建築設備について】 建築設備にあつては、構造上安全なものとして(令第129条-2-4)に適合する方法とする
■【屋根葺材等の構造について】 屋根葺材等の仕様については、昭46建告109号に適合するものとする
■【令第69条への適合性について】 材料又は壁、屋根若しくは床版の配置については、昭62建告1899号に就つた
構造計算によって構造耐力上安全で有る事を確かめた構造方法とする
■【鋼材の規格について】 工事に使用する鉄骨、鉄筋は JIS 規格品を使用し工事監督者にミルシートを提出する事
りス品など理由により、ミルシートの提出が困難な場合、これに代わる図書等を添付する

検印

鉄骨構造標準図

※修正箇所は下線を引くこと

1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計特記仕様による
 - (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする。但し、ベースプレートの厚さは除く
 - (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法・精度及びその他の結果を添付する
- (2) 作業一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
 - (b) 鋼骨部材の分岐継手部の粗角切断は、鋼骨自動切断機による
 - (c) 高強度鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本締めを使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
 - (b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを産金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。但し、ショットブラスト、グリップブラストによる処理で表面荒さが、50S以上である場合は、赤さびは発生しないまでもよい。
 - (c) 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。
- (4) 溶接接合
- (a) 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。
 - (a) 溶接技能者
 - 溶接技能者は施工する溶接に適用するJIS Z3801（手溶接）又はJIS Z3841（半自動溶接）の溶接術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
 - (b) 溶接機器
 - (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A
 - (ロ) アークエア・ガウジング機（直流）
 - (ハ）サブマージアーク溶接機一式
 - (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 - (ホ) 溶接電流を測定する電流計
 - (ヘ) 溶接棒乾燥器
 - (c) 溶接方法
 - アーク手溶接（MC）
 - アークエア・ガウジング（AAG）
 - ガスシールドアーク半自動溶接（GC）
 - セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接（NGC）
 - (d) 溶接姿勢
 - 下向 F
 - 立向 V
 - 横向 H
 - 上向 O
 - (e) 組立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
 - (イ) 仮付位置
 - 組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける
 - (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する
 - (f) 溶接施工
 - (イ) エンドタブ
 - I) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同形状のエンドタブを取り付ける
 - II) エンドタブの材質は母材と同質とする
 - III) エンドタブの長さは、MC：35mm以上
NGC、GC：40mm以上とし、特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
 - IV) プレス鋼板タブ、円形タブ使用については、資料を提出し設計者または工事監理者の承認を得る
 - (ロ) 裏当て金
 - 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする。但し、溶接性能が確認できれば監理者の承認を得て変更することができる。
 - (ハ) スクラップ半径は30~35mmと、10mmのダブルとすると
但し梁成が0=150mm未満の場合のスクラップはr=20mmとする
 - (ニ) ノンスクラップ工法
 - (g) 裏はつり
 - 基準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を動かし、部材に確認マークをつける
 - (ハ) 現場溶接の閉先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、閉先面をいためない様に養生を行う
 - (5) 塗装
 - コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2. 溶接基準図 (注) f: 余盛 G: ルート開隔 R: フェース S: 脚長 (単位mm)

(1) 隅肉溶接

(2) 部分溶込み溶接 (使用箇所ご注意)

(3) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)

(4) フレア溶接

K形の場合

軽量形鋼等溶接

3. 継手標準図、その他

(1) 高力ボルト、ボルト、アンカーボルトのピッチ (P)

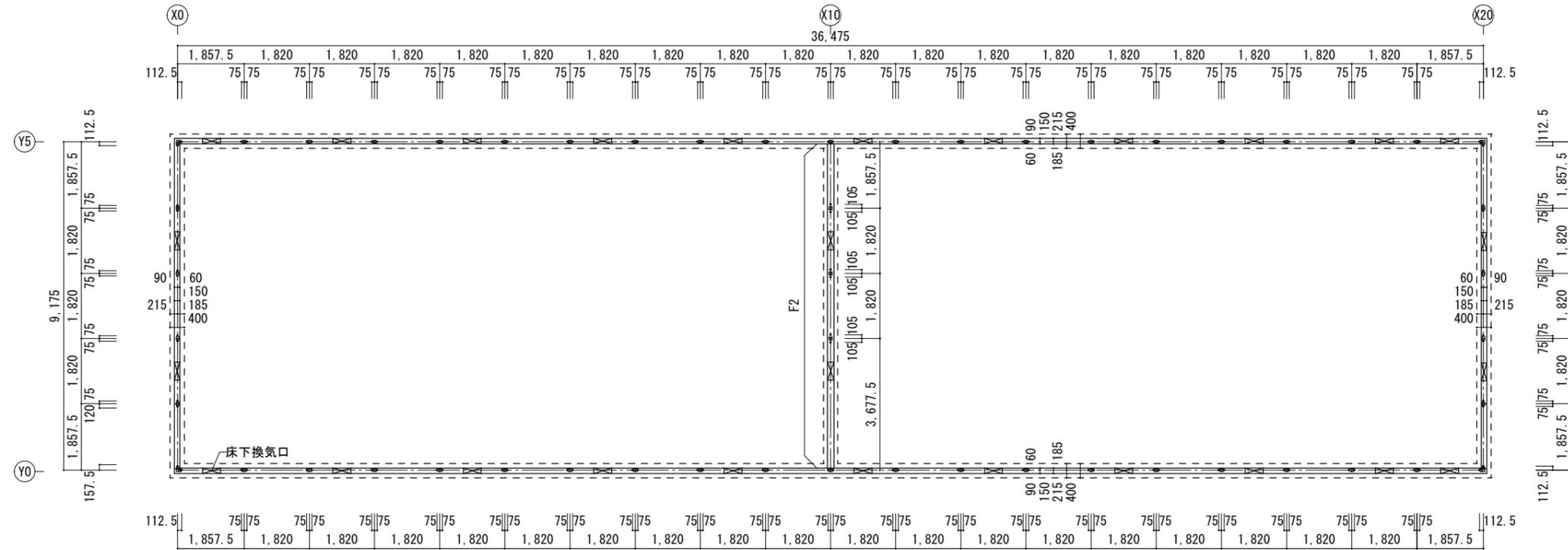
呼び径 d	ボルト穴径	最小継ぎ距離 (e)			ピッチ (P)		
		(1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	最小 標準	
M12	14	30	22	18	25	30	45
M16	18	40	28	22	40	40	60
M20	22	50	34	26	40	50	60
M22	24	55	38	28	40	55	60
M24	26	60	44	32	45	60	70
M12	17 (13)		22	18	(25)	(30)	(45)
M16	21 (17)		28	22	(40)	(40)	(60)
M20	25 (21.5)		34	26	(40)	(50)	(60)
M22	27 (23.5)		38	28	(40)	(55)	(60)
M24	29 (25.5)		44	32	(45)	(60)	(70)
M27	32		49	36			
M30	35		54	40			
M34 以上	呼び径+5		9d/5	4d/3			

[注] (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の継ぎ距離
(2) セン断線・手動ガス切断線の場合の継ぎ距離
(3) 圧延線・自動ガス切断線・のこ引き線・機械仕上線の場合の継ぎ距離

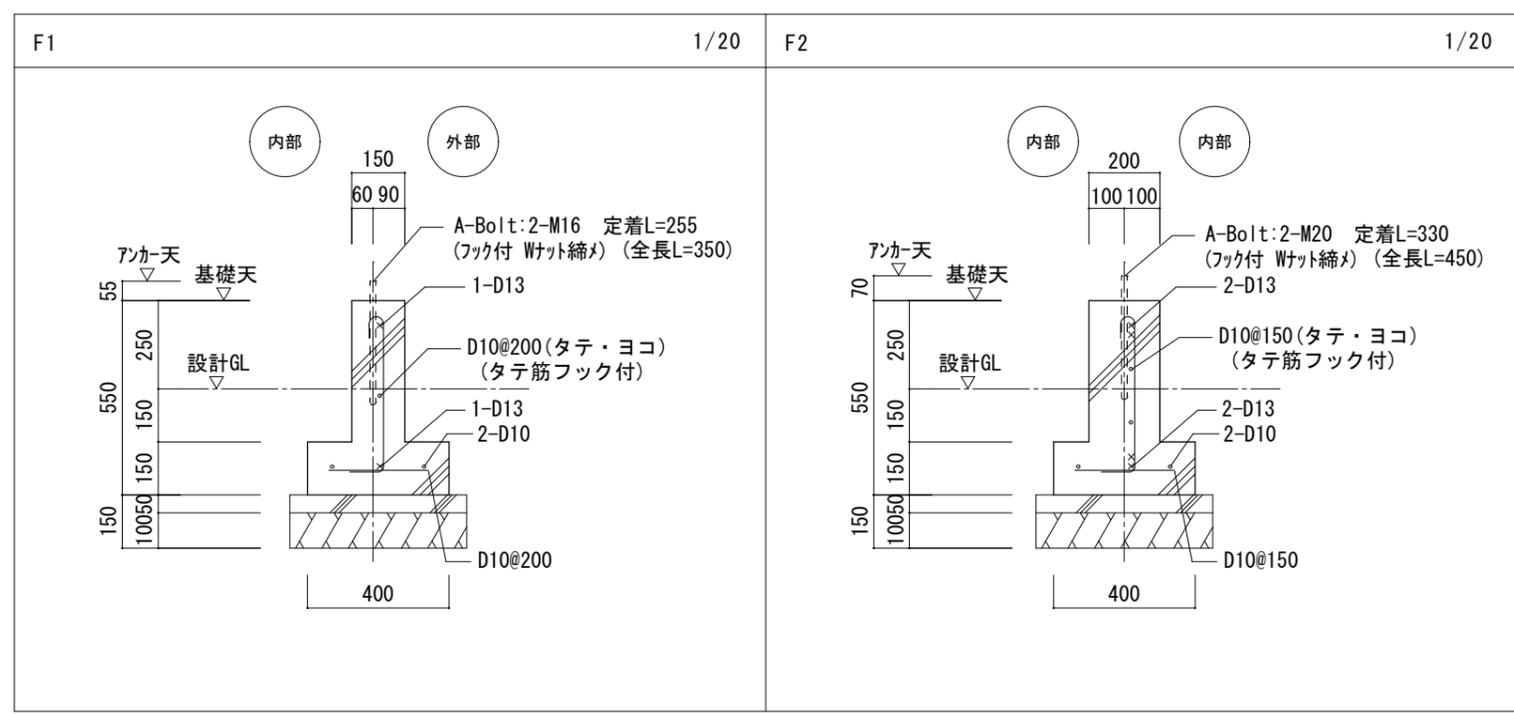
(2) ピン接合梁継手リスト

符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
		図面による (S-10)			

検印



基礎伏図 S=1/150
 ※特記なき基礎は全てF1とする。
 ※地耐力50KN/m²とする。



検印

特記事項	※工事着手前に平板載荷試験を行う。地耐力が不十分であった場合は別途対策を講じる。			株式会社別当設計 1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号 1級建築士登録第278449号 別当 幸直	管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称 高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃貸借	設計年月日 令和4年10月	図	工事種別 改修工事(建築主体)
	図面名称 仮設校舎 基礎伏図・基礎詳細図	縮尺 A1: S=1/150, 1/20 A3: S=1/300, 1/40	図面番号 A4-13								

部材リスト

記号	C1	C2	C3		壁ブレース	壁ブレース	水平ブレース
形状	λ = 142 	λ = 102 	λ = 128 				
材料	LH-75*90*15*3.2*3.2	2C-75*45*15*2.3 +□-75*75*2.3	2□-75*45*3.2		M14	M18	M12
備考	B. PL-16 A. BOLT 2-M16 定着L=255	B. PL-16 A. BOLT 2-M16 定着L=255	B. PL-22 A. BOLT 2-M20 定着L=330		シート t=9 羽子板 t6 M16(強度区分10.9)	シート t=9 羽子板 t9 M20(強度区分10.9)	シート t=6 羽子板 t6 M16(強度区分10.9)
記号	RG1	RG2	RG3				
形状							
材料	H-346*174*6*9	[-100*50*5*7.5	□-75*75*2.3				
備考	PL-6 BOLT 3-M16	BOLT 2-M12	PL-6 BOLT 4-M12				
記号	B1	B2	B3	r		特記事項	
形状						・鋼材 SS400 (梁・アンカーボルト) JIS G 3101 SSC400 (柱・ツギ・母屋) JIS G 3350 STKR400 (柱) JIS G 3466 SWH400L (柱) JIS G 3353 SNR400B (ブレース・ターンバックル) JIS A 5540 SS400 (ハースプレート) JIS G 3101 ・ボルト 中ボルト 強度区分10.9(水平ブレース・柱ブレース接合部) 中ボルト 強度区分4.8(梁・母屋・継接合部) (スプリングワッシャーを戻止めとして使用する)	
材料	C-75*45*15*2.3	C-75*45*15*2.3	C-75*45*15*2.3	C-75*45*15*2.3			
備考	BOLT 1-M12	BOLT 1-M12	PL-4.5 BOLT 2-M12	PL-4.5 BOLT 2-M12			

検印

特記事項

株式会社別当設計

1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号
1級建築士登録第278449号 別当 幸直

管理建築士 管理技術者 設計者

工事名称 高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃借

設計年月日 令和4年10月

図面名称 仮設校舎 部材リスト

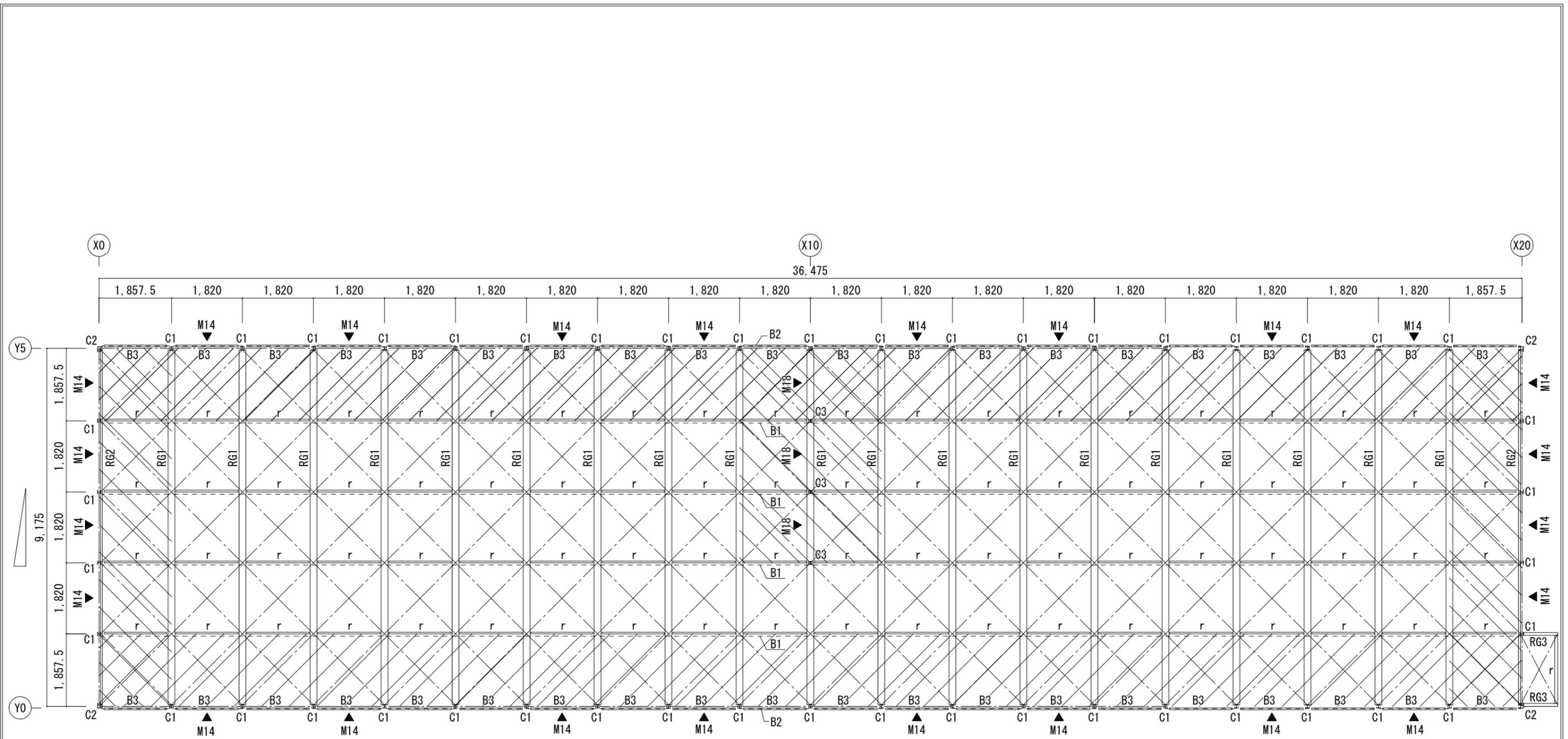
縮尺 A1: S=1/20
A3: S=1/40

工事種別

改修工事(建築主体)

図面番号

A4-14



梁伏図 S=1/100

--- 水平ブレースを表す M12

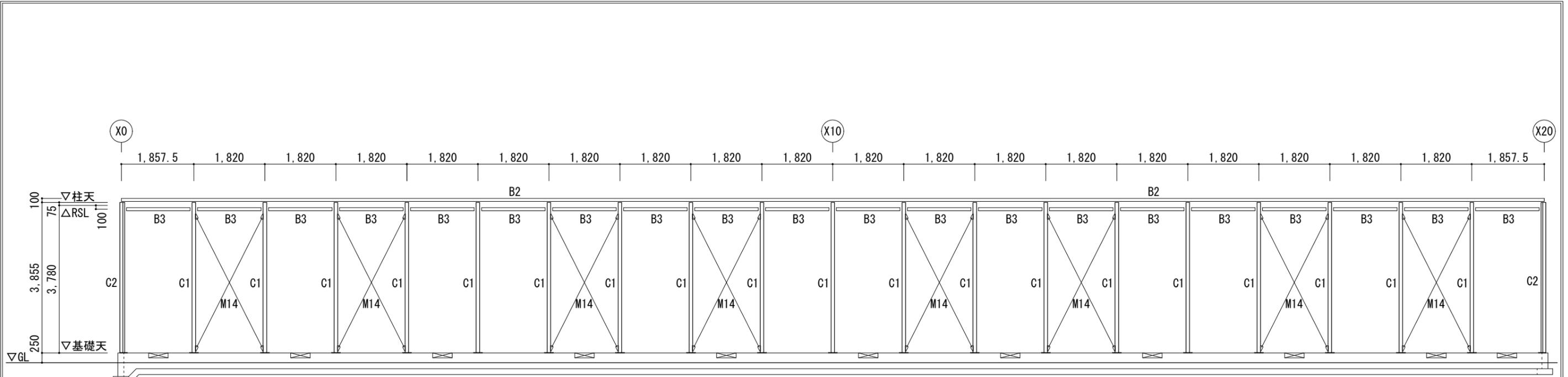
▲ 壁ブレースを表す M14・M18

▨ 水平ブレースX方向計算箇所

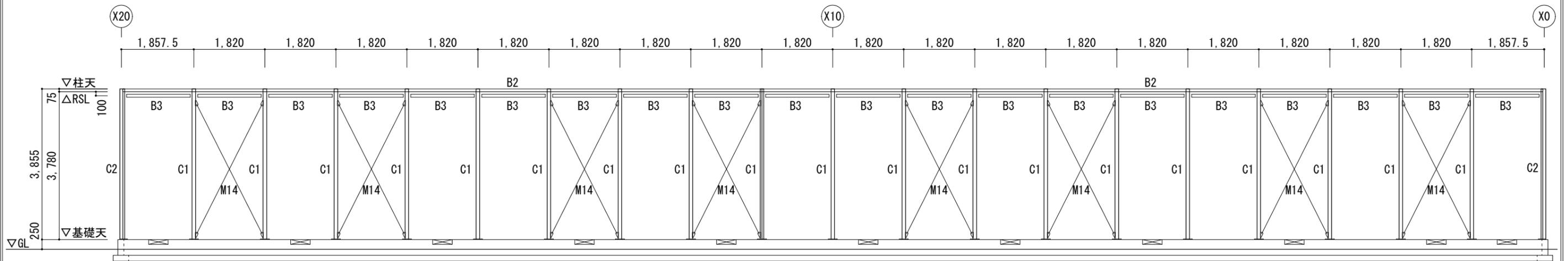
▩ 水平ブレースY方向計算箇所

検印

特記事項	株式会社別当設計 1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号 1級建築士登録第278449号 別当 幸直	管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称 高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃貸借	設計年月日 令和4年10月	図 A1: S=1/100 A3: S=1/200	工事種別 改修工事(建築主体)
					図面名称 仮設校舎 梁伏図	図面番号 A4-15		



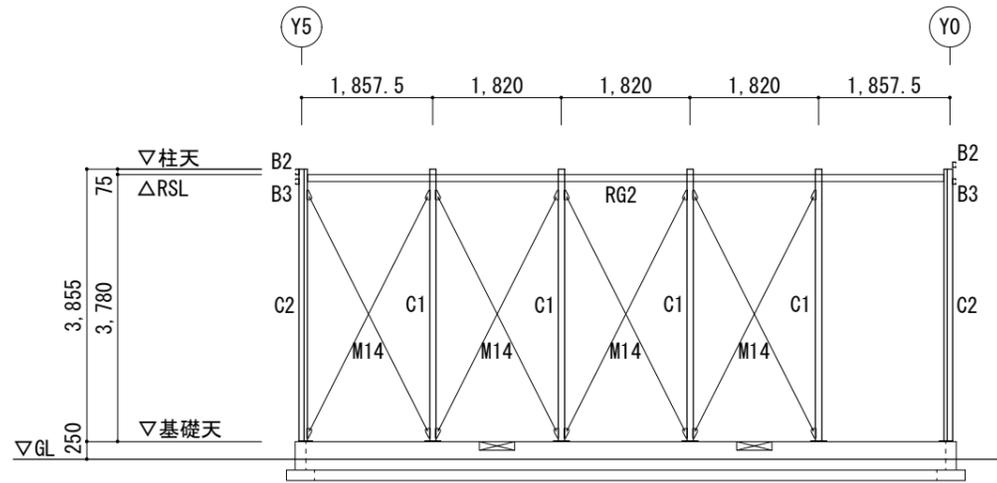
Y0通軸組図 S=1/100



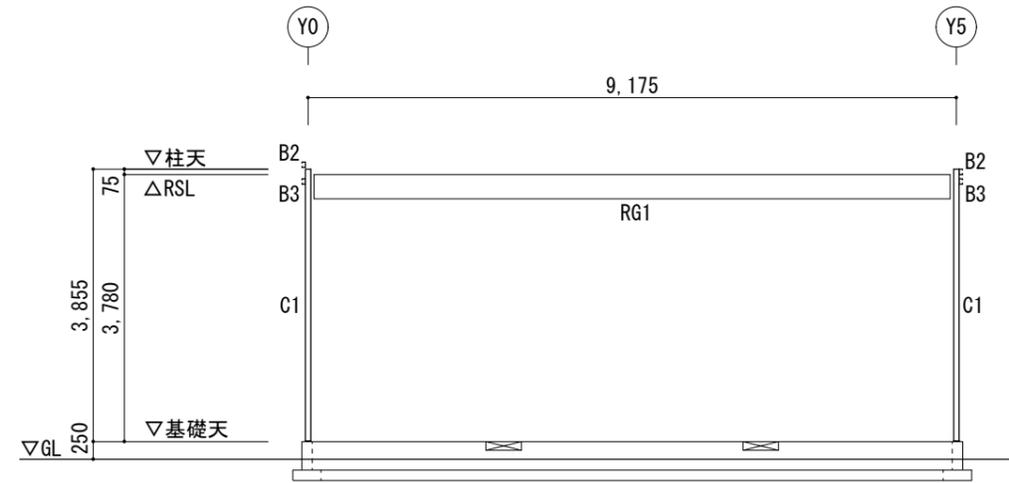
Y5通軸組図 S=1/100

検印

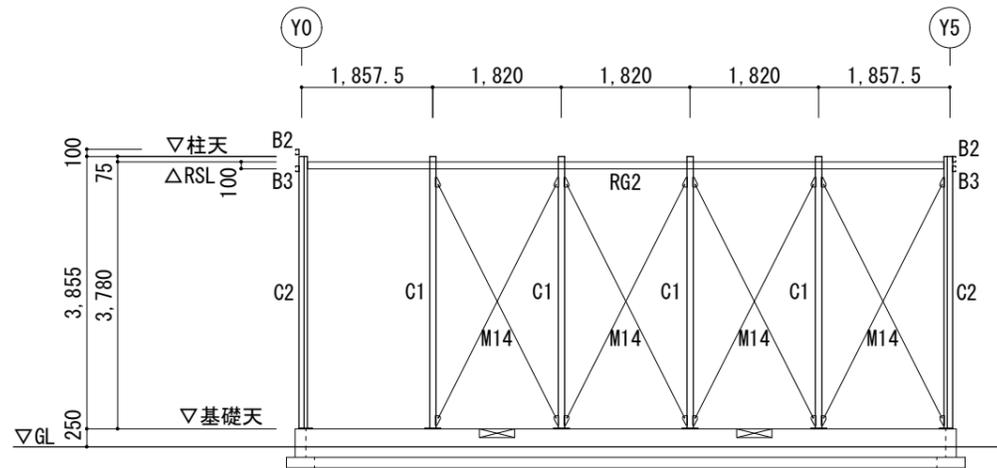
特記事項	株式会社別当設計			工事名称	設計年月日	工事種別	
	1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号			高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃貸借	令和4年10月		改修工事(建築主体)
	1級建築士登録第278449号 別当 幸直			図面名称	縮尺		
				仮設校舎 軸組図 1	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200	A4-16	



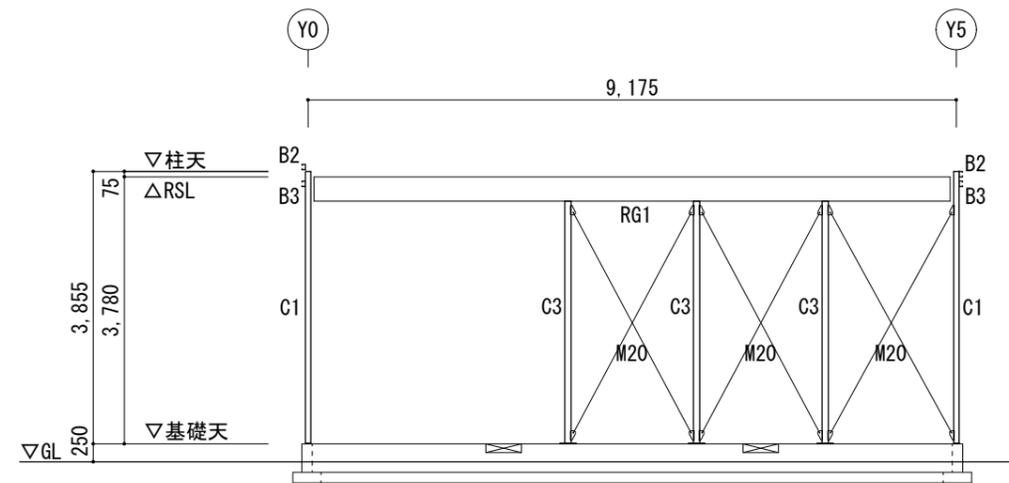
X0通軸組図 S=1/100



X1~X9通軸組図
X11~X19通軸組図 S=1/100



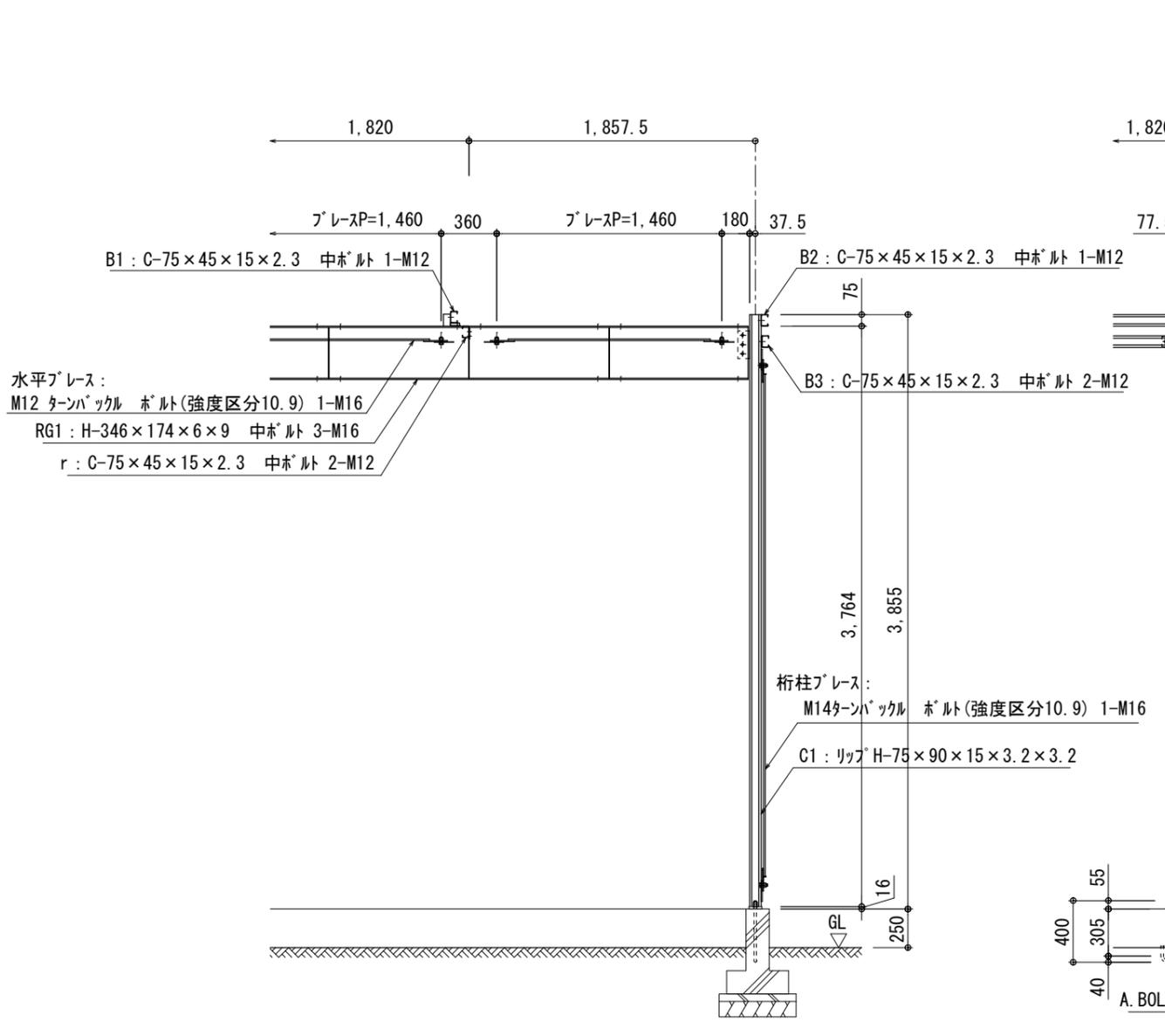
X20通軸組図 S=1/100



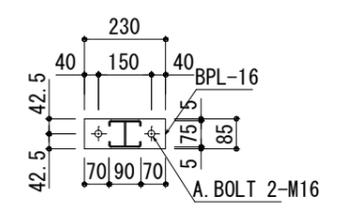
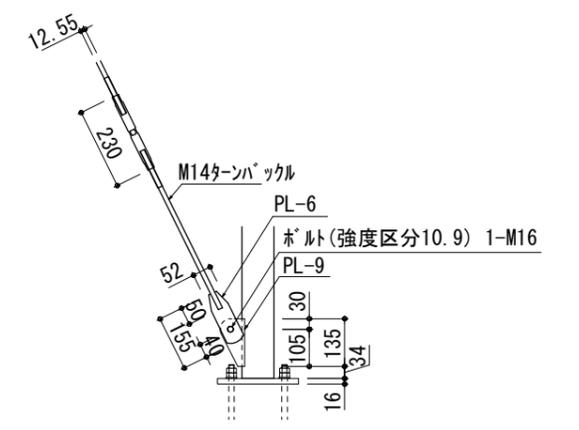
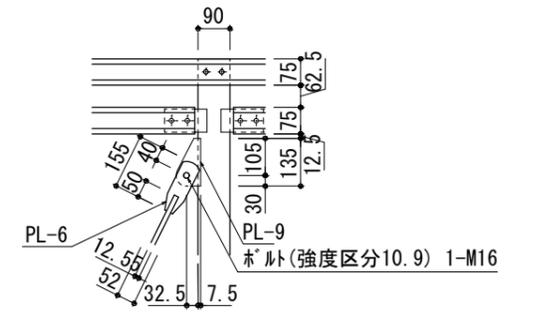
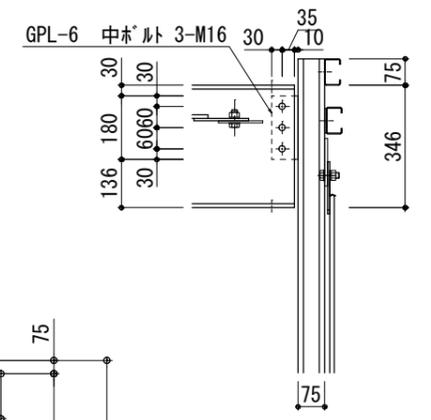
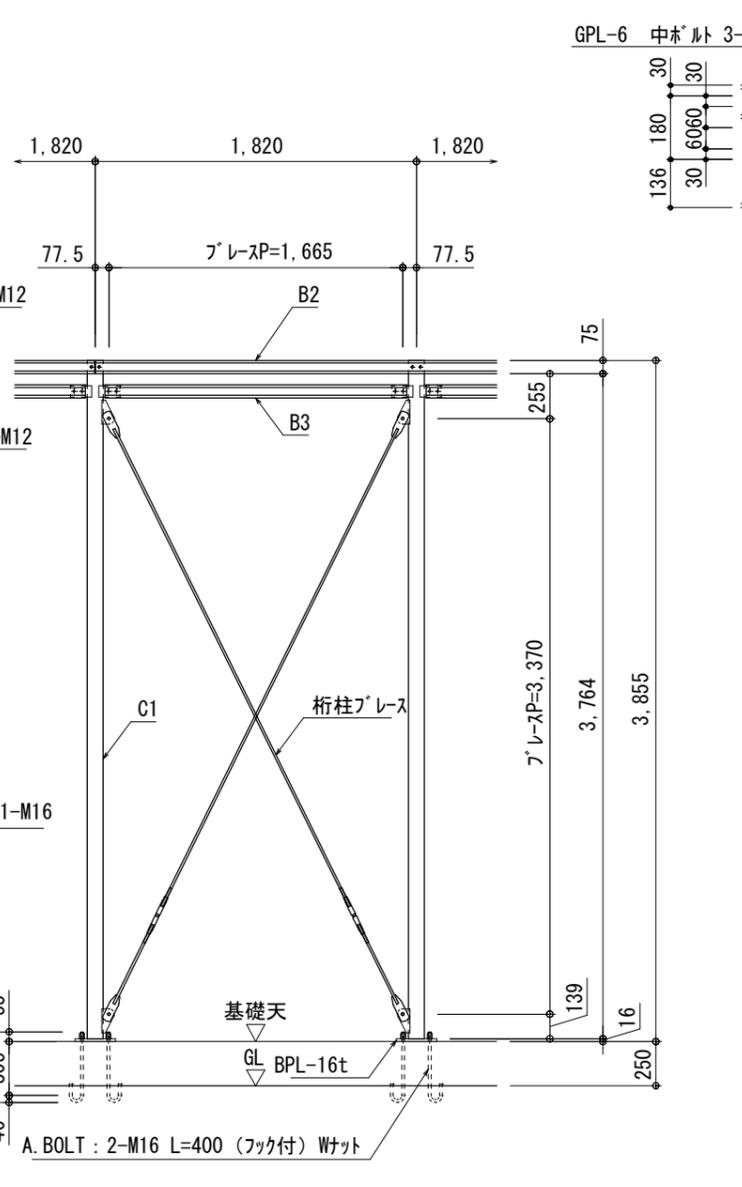
X10通軸組図 S=1/100

検印

特記事項	株式会社別当設計			管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称	設計年月日	図	工事種別
	1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号						高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃貸借	令和4年10月		改修工事(建築主体)
	1級建築士登録第278449号 別当 幸直						仮設校舎 軸組図2	縮尺 A1: S=1/100 A3: S=1/200		図面番号 A4-17



架構図(桁面) S=1/40



C1 柱脚

鉄骨詳細図 S=1/20

検印

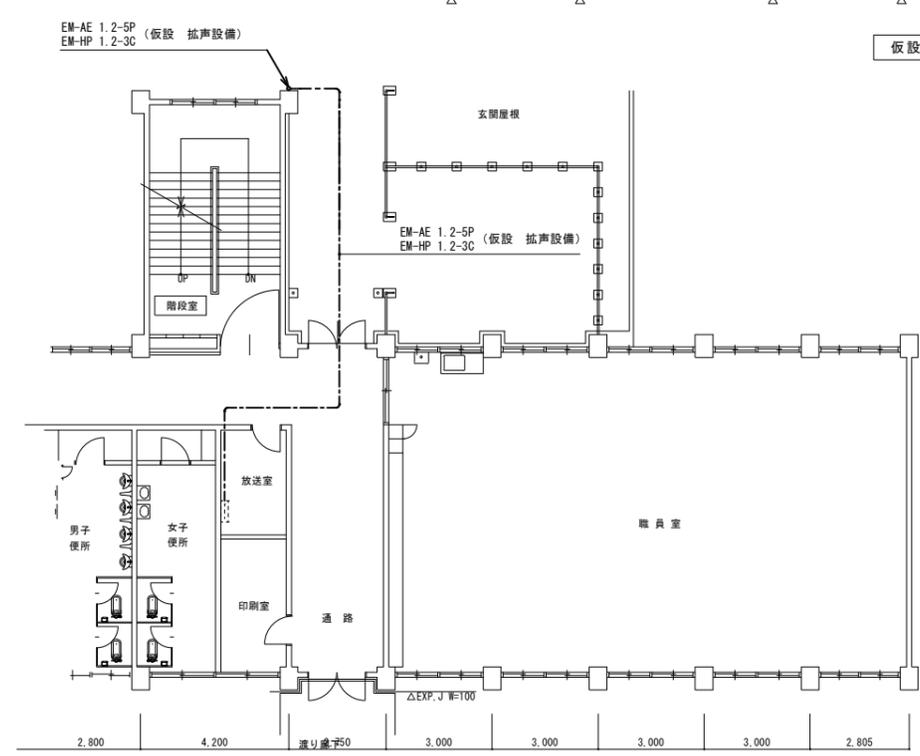
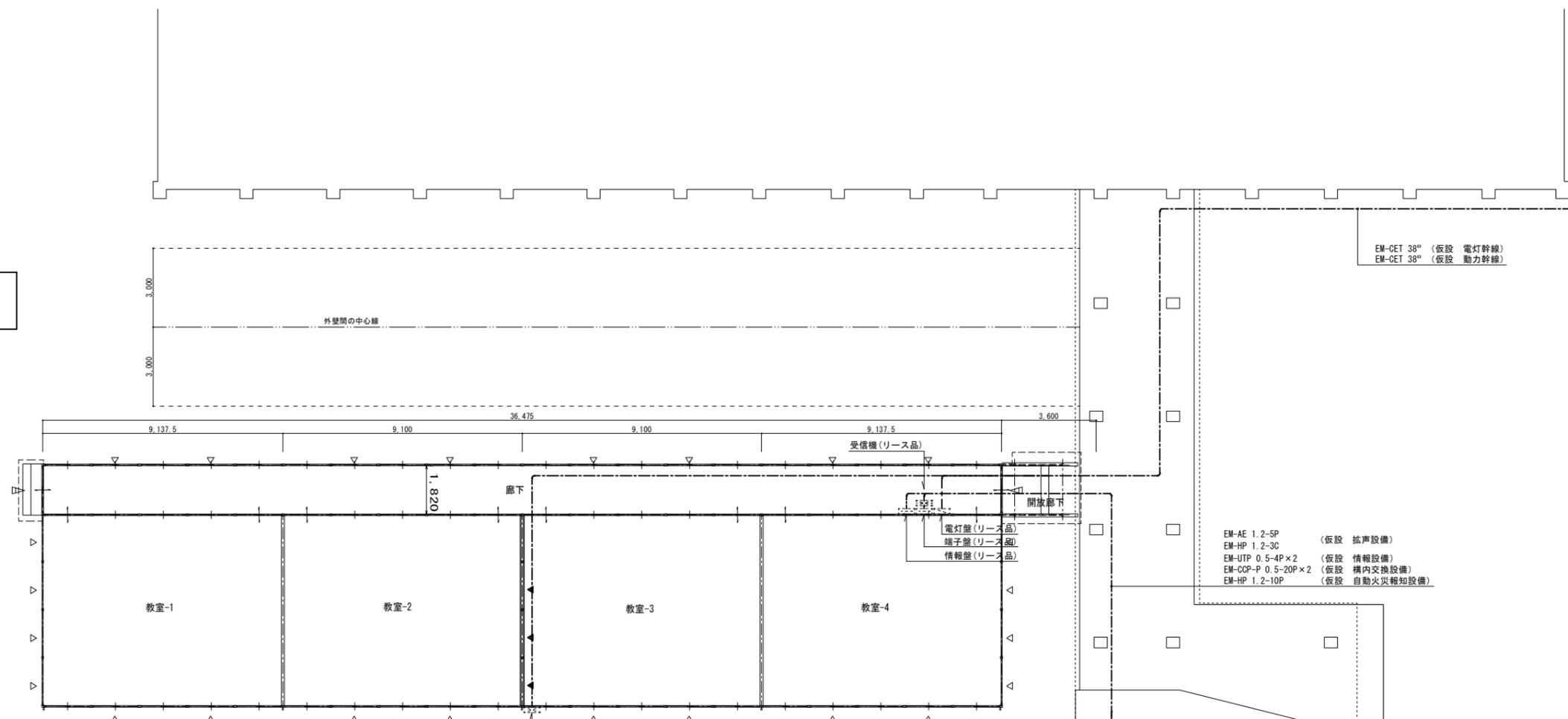
特記事項	株式会社別当設計	管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称	設計年月日	図	工事種別	
	1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号 1級建築士登録第278449号 別当 幸直				高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃貸借	令和4年10月			改修工事(建築主体)
					図面名称	縮尺			
					仮設校舎 鉄骨詳細図	A 1 : S = 1/40, 1/20 A 3 : S = 1/80, 1/40	A 4 - 1 8		



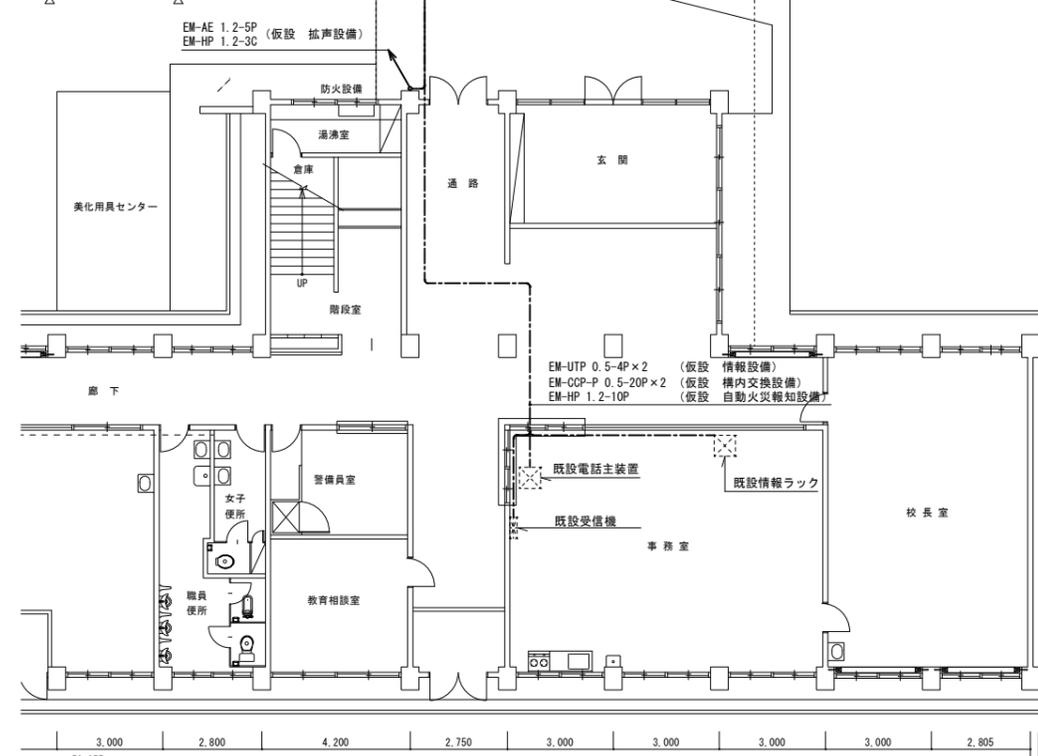
仮設工事
図示の仮設配線工事を行う。
仮設校舎解体に伴い仮設配線の撤去を行う。

既設キュービクル (低圧電灯盤)
MCCB 3P 100AF/100AT新設

既設キュービクル (低圧動力配電盤2)
MCCB 3P 100AF/100AT新設



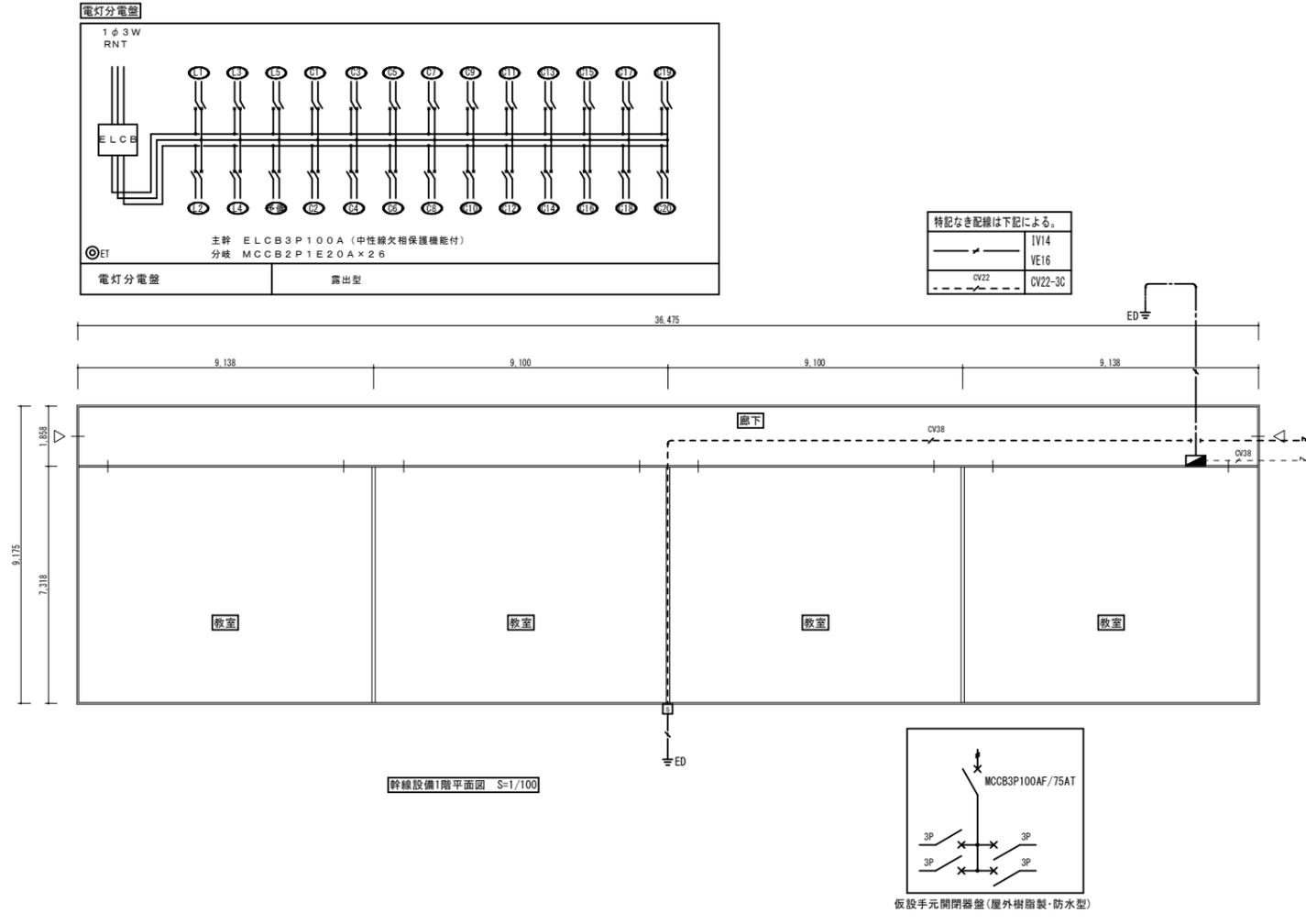
119棟 2階平面図 S=1/100



※電気設備工事は、リース工事とする。

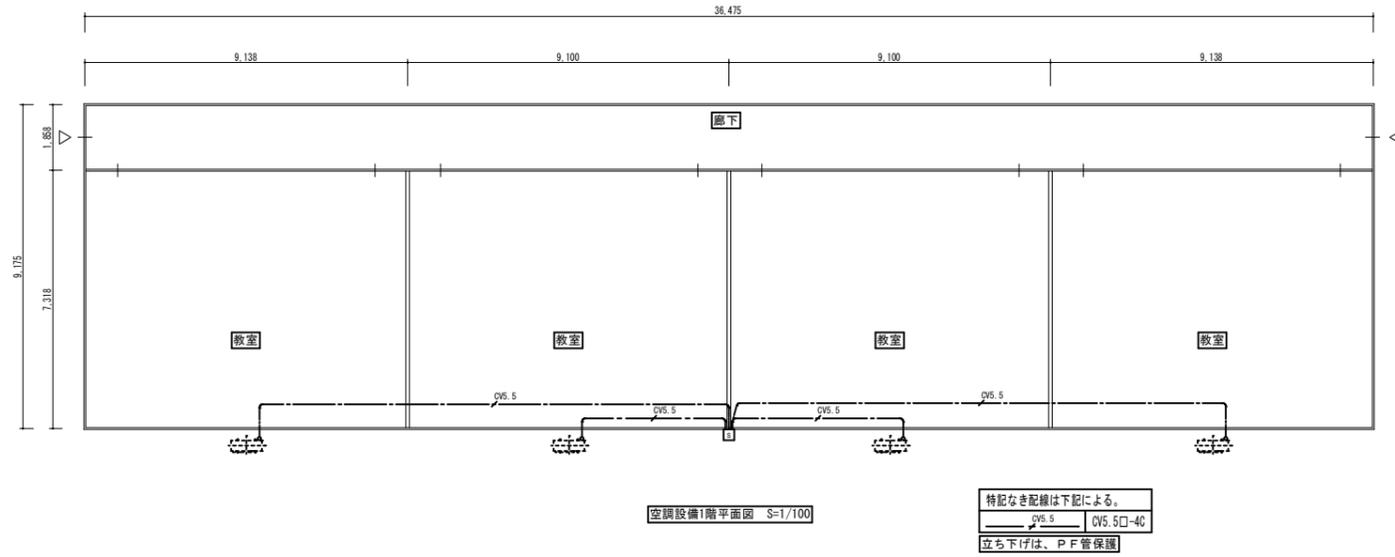
119棟 1階平面図 S=1/100

特記事項	株式会社別当設計	管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称	設計年月日	工事種別
	1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号 1級建築士登録第278449号 別当 幸宣				高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃借	令和4年11月	
					図面名称	縮尺	図面番号
					仮設 構内配線図	A1 : S=1/100 A3 : S=1/200	E4-01



※電気設備工事は、リース工事とする。

特記事項	株式会社別当設計 1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号 1級建築士登録第278449号 別当 幸宣	管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称 高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃貸借	設計年月日 令和4年11月	図 面 番 号 E4-02	工事種別 電気設備工事
		図面名称 幹線設備 1階平面図			縮尺 A1: S=1/100 A3: S=1/200	図面番号		

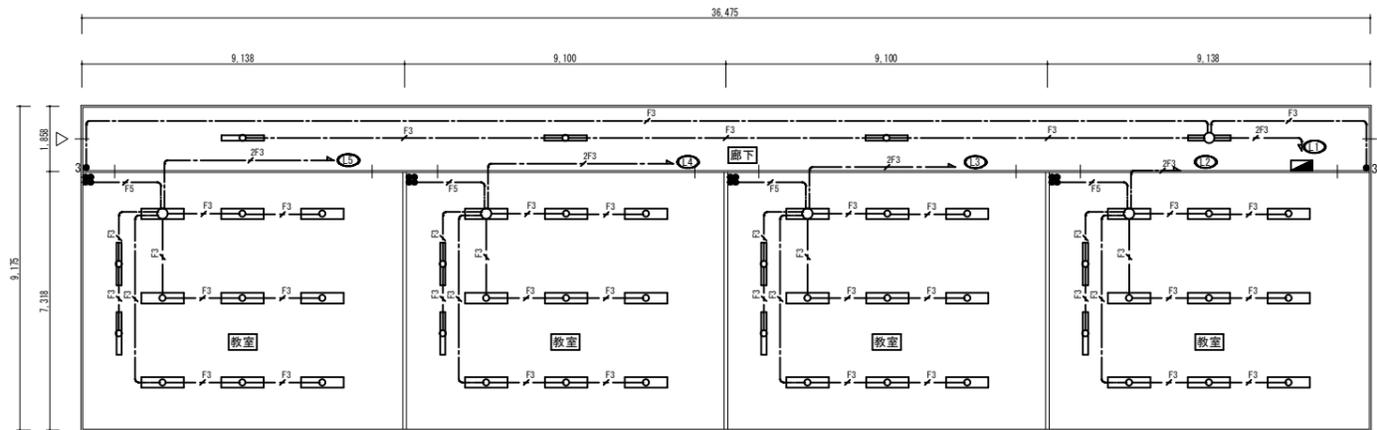


※電気設備工事は、リース工事とする。

特記事項	株式会社別当設計 1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号 1級建築士登録第278449号 別当 幸宣	管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称 高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃貸借	設計年月日 令和4年11月	図 面 番 号 E4-03	工事種別 電気設備工事
					図面名称 動力設備 1階平面図	縮尺 A1 : S=1/100 A3 : S=1/200		

照明器具姿図

A	B	C
LED ^α -ｽﾀｲﾄ(直付型)器具光束:5,300LM 公共施設形番:LSS9-4-48	LED ^α -ｽﾀｲﾄ(直付型)器具光束:7,200LM 公共施設形番:LSS9-4-65	LED ^α -ｽﾀｲﾄ(直付型)器具光束:6,200LM 公共施設形番:LSR12-4-62 黒板灯
		



電灯設備1階平面図 S=1/100

特記なき配線は下記による。

	VVF2.0-3C(1G:E)
	VVF1.6-3C
	VVF1.6-2C+3C

立ち下げは、P.F管保護

※電気設備工事は、リース工事とする。

特記事項

株式会社別当設計

1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号
1級建築士登録第278449号 別当 幸宣

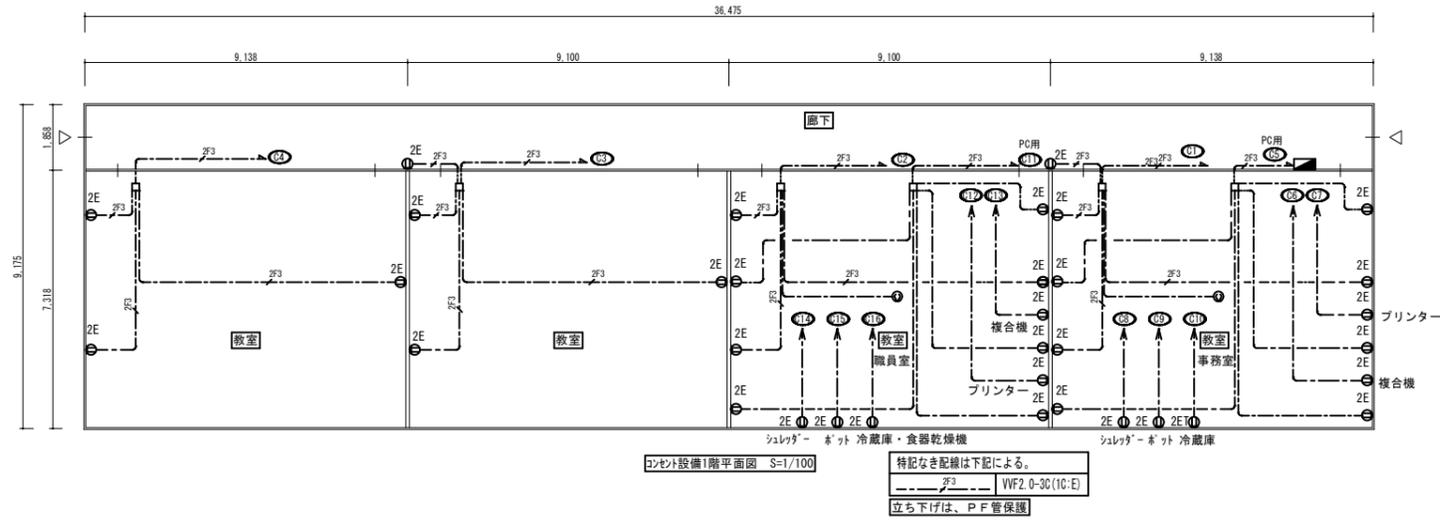
管理建築士 管理技術者 設計者

工事名称
高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃貸借
図面名称
電灯設備 1階平面図

設計年月日
令和4年11月
縮尺
A1: S=1/100
A3: S=1/200

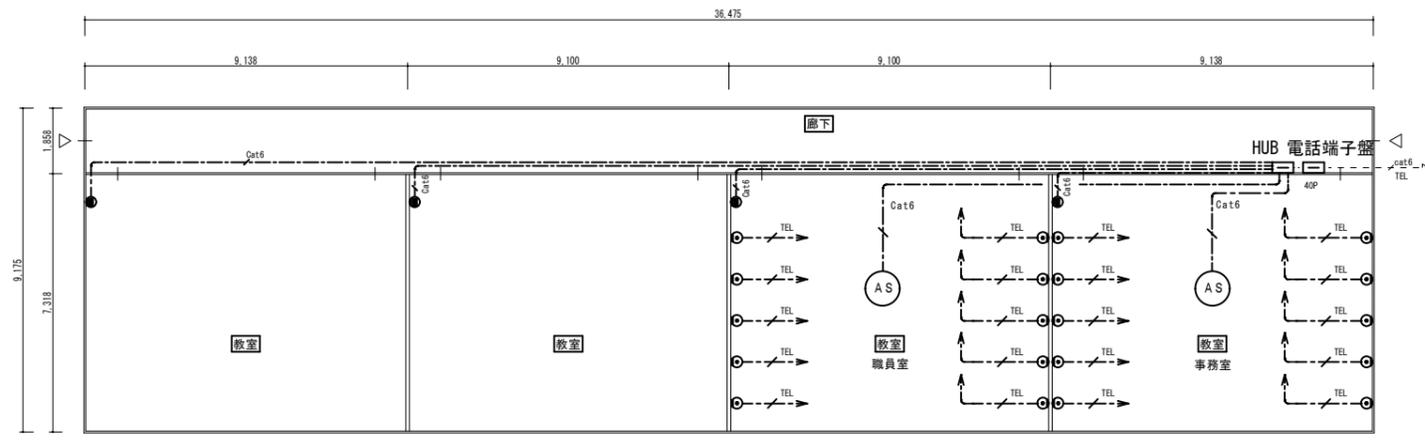
図面番号
E4-04

工事種別
電気設備工事



※電気設備工事は、リース工事とする。

特記事項 ----- ----- -----	株式会社別当設計 1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号 1級建築士登録第278449号 別当 幸宣	管理建築士 ----- -----	管理技術者 ----- -----	設計者 ----- -----	工事名称 高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃貸借 図面名称 コンセント設備 1階平面図	設計年月日 令和4年11月	検 図	工事種別 電気設備工事 図面番号 E4-05
						縮尺 A1 : S=1/100 A3 : S=1/200		



情報設備1階平面図 S=1/100

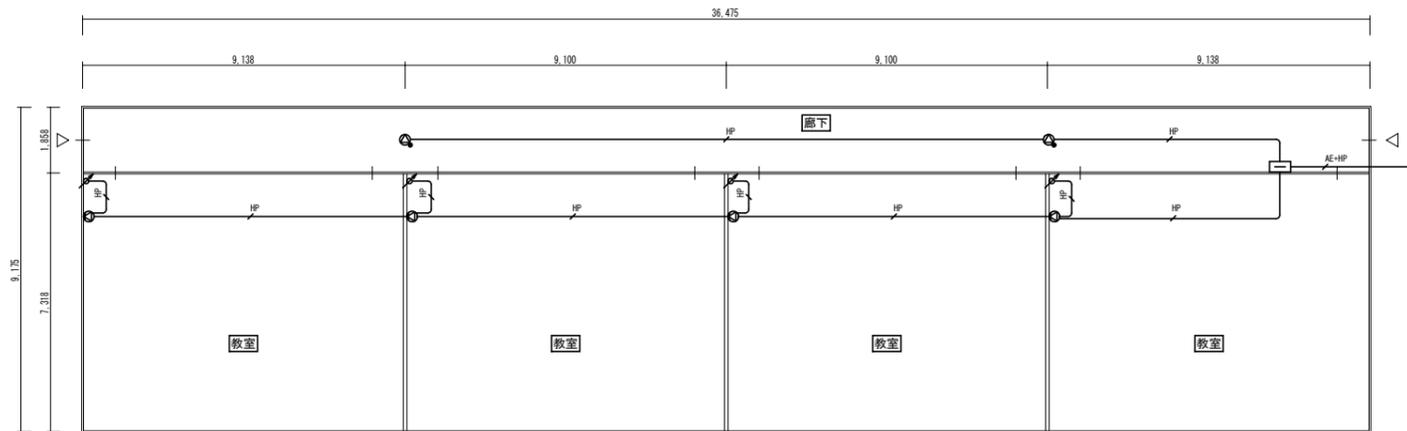
特記なき配線は下記による。

--- Cat6 ---	cat6
--- TEL ---	0.4-2P

※電気設備工事は、リース工事とする。

特記事項	株式会社別当設計 1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号 1級建築士登録第278449号 別当 幸宣	管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称 高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃貸借	設計年月日 令和4年11月	図	工事種別 電気設備工事
		図面名称 情報設備・電話設備 1階平面図			縮尺 A1 : S=1/100 A3 : S=1/200	図面番号 E4-06		

天井埋込型スピーカー (ATT付)	壁掛型スピーカー	アッテネーター (0.5~6W)																																				
(8cm)																																						
<table border="1"> <tr><td>定格入力</td><td>3W (3.3kΩ)、1W (10kΩ)</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>92dB (1W/1m)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>150Hz~20kHz (-20dB)</td></tr> <tr><td>使用スピーカー</td><td>8cmコーンスピーカー</td></tr> <tr><td>仕上げ</td><td>本体: ABS樹脂</td></tr> <tr><td>パネル</td><td>ネット: アルミパンチング 白色</td></tr> <tr><td></td><td>枠: ABS樹脂 白色</td></tr> <tr><td>音量調節</td><td>4段階</td></tr> </table>	定格入力	3W (3.3kΩ)、1W (10kΩ)	出力音圧レベル	92dB (1W/1m)	周波数特性	150Hz~20kHz (-20dB)	使用スピーカー	8cmコーンスピーカー	仕上げ	本体: ABS樹脂	パネル	ネット: アルミパンチング 白色		枠: ABS樹脂 白色	音量調節	4段階	<table border="1"> <tr><td>定格入力</td><td>3W (3.3kΩ)、1W (10kΩ)</td></tr> <tr><td>出力音圧レベル</td><td>92dB (1W/1m)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>120Hz~12kHz</td></tr> <tr><td>使用スピーカー</td><td>16cmコーンスピーカー</td></tr> <tr><td>仕上げ</td><td>木箱: 塩ビシート貼り、ネット: ジャージ</td></tr> </table>	定格入力	3W (3.3kΩ)、1W (10kΩ)	出力音圧レベル	92dB (1W/1m)	周波数特性	120Hz~12kHz	使用スピーカー	16cmコーンスピーカー	仕上げ	木箱: 塩ビシート貼り、ネット: ジャージ	<table border="1"> <tr><td>入力容量</td><td>0.5W~6W</td></tr> <tr><td>入力インピーダンス</td><td>20kΩ~1.67kΩ</td></tr> <tr><td>音量調整</td><td>5段階</td></tr> <tr><td>パネル</td><td>新金属</td></tr> <tr><td>適合ボックス</td><td>JIS1個口用スイッチボックス</td></tr> </table>	入力容量	0.5W~6W	入力インピーダンス	20kΩ~1.67kΩ	音量調整	5段階	パネル	新金属	適合ボックス	JIS1個口用スイッチボックス
定格入力	3W (3.3kΩ)、1W (10kΩ)																																					
出力音圧レベル	92dB (1W/1m)																																					
周波数特性	150Hz~20kHz (-20dB)																																					
使用スピーカー	8cmコーンスピーカー																																					
仕上げ	本体: ABS樹脂																																					
パネル	ネット: アルミパンチング 白色																																					
	枠: ABS樹脂 白色																																					
音量調節	4段階																																					
定格入力	3W (3.3kΩ)、1W (10kΩ)																																					
出力音圧レベル	92dB (1W/1m)																																					
周波数特性	120Hz~12kHz																																					
使用スピーカー	16cmコーンスピーカー																																					
仕上げ	木箱: 塩ビシート貼り、ネット: ジャージ																																					
入力容量	0.5W~6W																																					
入力インピーダンス	20kΩ~1.67kΩ																																					
音量調整	5段階																																					
パネル	新金属																																					
適合ボックス	JIS1個口用スイッチボックス																																					



放送設備1階平面図 S=1/100

特記なき配線は下記による。

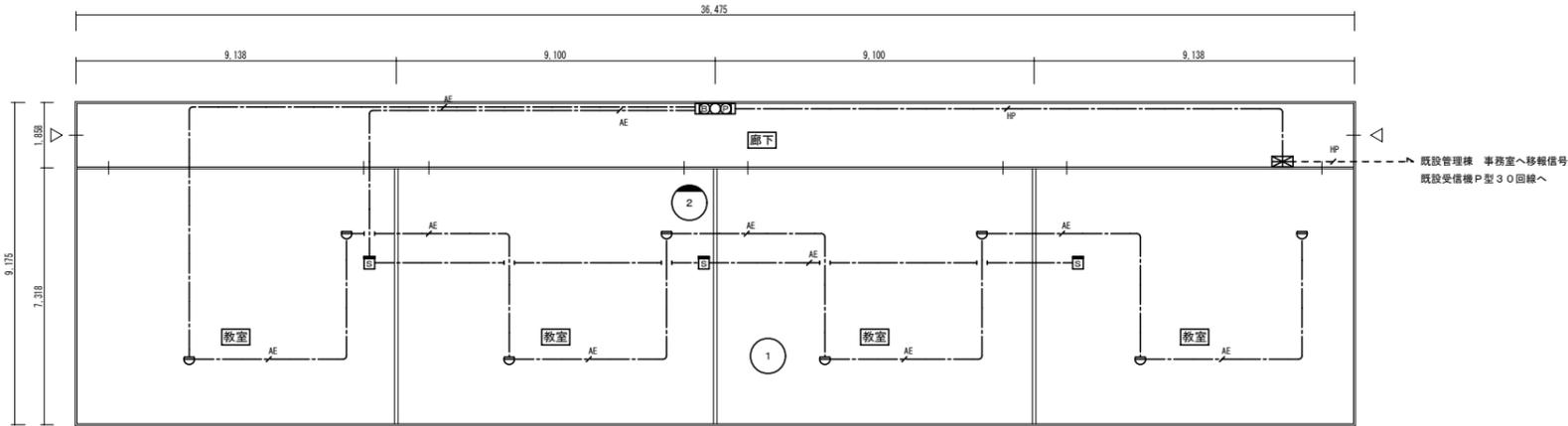
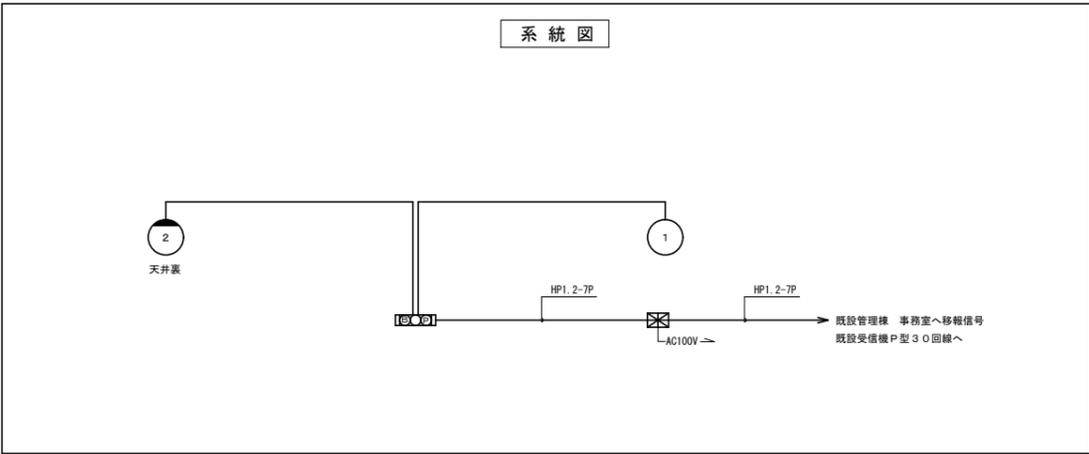
HP	HP1.2-3C
AE-HP	AE1.2-3C
	HP1.2-3C

<非常放送設備 凡例>

記号	機器名称
⊙	天井埋込型スピーカー (ATT付)
⊖	壁掛型スピーカー
⚡	アッテネーター

※電気設備工事は、リース工事とする。

特記事項	株式会社別当設計 1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号 1級建築士登録第278449号 別当 幸宣	管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称 高鍋農業高校仮設校舎建設工事	設計年月日 令和4年11月	図 面 号 E4-07	工事種別 電気設備工事
		図面名称 放送設備 1階平面図			縮尺 A1: S=1/100 A3: S=1/200	図面番号		



特記なき配線は下記による。

HP	HP1.2-7P
HP	HP1.2-7P
AE	AE1.2-2C

凡例

記号	名称	摘要
☒	受信機	注記参照
Ⓜ	総合盤	露出型 (Ⓜ内蔵)
Ⓜ	電鈴	DC24V 露出型
Ⓜ	発信機	P型2級 フラット型表示灯付
○	フラット表示灯	AC/DC24V LED
Ⓜ	差動式感知器	スポット型2種 露出型
Ⓜ	煙感知器	光電式2種 露出型 (天井裏取付)
Ⓜ	警戒区域番号	自火報
Ⓜ	警戒区域番号	自火報 天井裏

注記

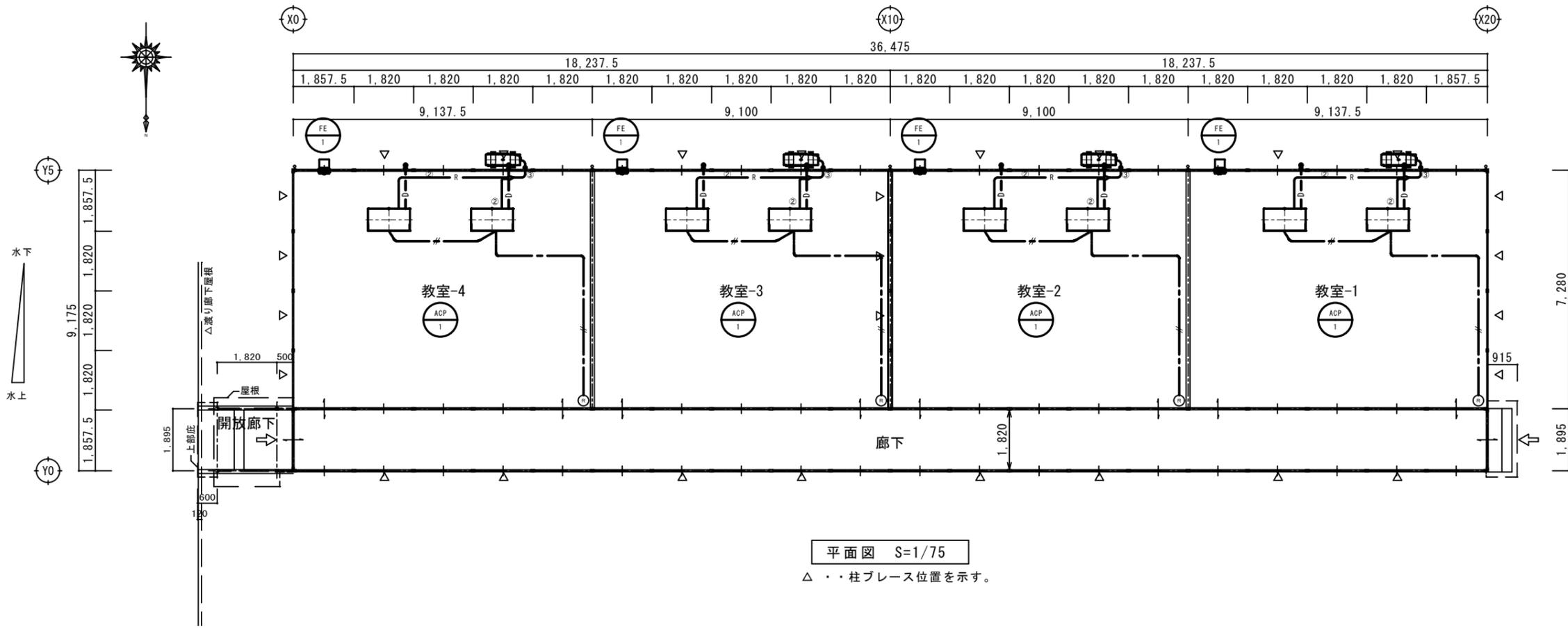
- 受信機
 - 種別 P型2級受信機 蓄積式 壁掛型
 - 表示方式
 - 地区表示部 火災 3回線 窓式
 - 主音響方式 圧電ブザー 再鳴動方式
 - 機能
 - 常時断線機能付
 - CPU異常・ヒューズ断・予備電源異常
- 回線内訳
 - ・火災表示 2L
 - ・予備 1L
 - ・合計 3L
- 地区音響は、一斉鳴動方式とする

※電気設備工事は、リース工事とする。

特記事項	株式会社別当設計 1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号 1級建築士登録第278449号 別当 幸宣	管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称 高鍋農業高校仮設校舎建設工事	設計年月日 令和4年11月	図 面 番 号 E4-08	工事種別 電気設備工事
		図面名称 自動火災報知設備 1階平面図			縮尺 A1 : S=1/100 A3 : S=1/200			

機器仕様

記号	名称	仕様	電源	台数	参考型式・設置場所
ACP-1	空冷ヒートポンプエアコン 天吊形 同時ツイン形	冷房能力 14.0 kW	三相200V	4	参考型式・設置場所
		暖房能力 16.0 kW			
		消費電力 4.62 kW			
		消費電力 4.20 kW			
		圧縮機電動機出力 3.50 kW			
		防護ネット（吸込・吹出）、室外機転倒防止金具(SUS)、室内機振止吊金具、分岐管			
		ワイヤードリモコン 他付属品一式			
FE-1	壁用換気扇	250φ 900m3/h 消費電力 33W ウェザーカバー（防虫網付き）	単相100V	4	



冷媒配管サイズ表

記号	配管サイズ
①	φ6.35×φ9.52
②	φ6.35×φ12.70
③	φ9.52×φ15.88
④	φ12.70×φ25.40

使用材料一覧表

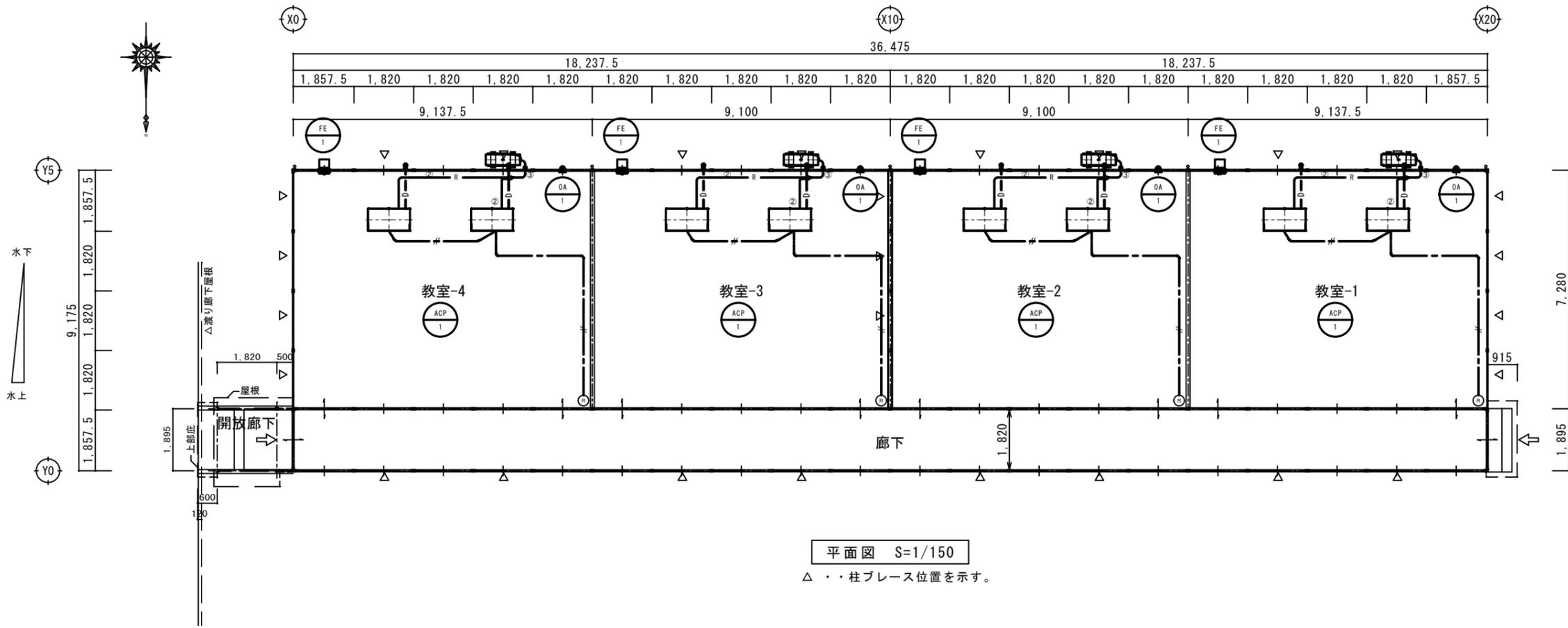
記号	名称	使用材料
R	冷媒管	冷媒用被覆銅管（国土交通省仕様） Cu
D	ドレン管（屋内）	硬質塩化ビニル管 VP
D	ドレン管（屋外）	硬質塩化ビニル管 55-VP
—	空調・換気リモコン線	EM-CEE 1.25 ^φ -2C
○	空調・換気リモコン	

※特記なきドレン配管は25Aとする。
※制御線(EM-EEF 1.6-3C)は冷媒管共巻きとする。

特記事項	株式会社 別当設計	管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称	設計年月日	機 械 設 備 工 事
	1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号 1級建築士登録第278449号 別当 幸宣				高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃貸借	令和4年10月	
					図面名称 空調換気設備 平面図	縮尺 A1: S=1/75 A3: S=1/150	

機器仕様

記号	名称	仕様	電源	台数	参考型式・設置場所
ACP-1	空冷ヒートポンプエアコン 天吊形 同時ツイン形	冷房能力 14.0 kW	三相200V	4	参考型式・設置場所
		暖房能力 16.0 kW			
		消費電力 4.62 kW			
		消費電力 4.20 kW			
		圧縮機電動機出力 3.50 kW			
		防護ネット(吸込・吹出)、室外機転倒防止金具(SUS)、室内機振止吊金具、分岐管			
		ワイヤードリモコン 他付属品一式			
FE-1	壁用換気扇	250φ 900m ³ /h 消費電力 33W ウェザーカバー(防虫網付き)	単相100V	4	
OA-1	自然給気ネット	SUS 150φ 深型フード150φ 防虫網付き		4	



冷媒配管サイズ表

記号	配管サイズ
①	φ6.35×φ9.52
②	φ6.35×φ12.70
③	φ9.52×φ15.88
④	φ12.70×φ25.40

使用材料一覧表

記号	名称	使用材料
R	冷媒管	冷媒用被覆銅管(国土交通省仕様) Cu
D	ドレン管(屋内)	硬質塩化ビニル管 VP
D	ドレン管(屋外)	硬質塩化ビニル管 53-VP
—	空調・換気リモコン線	EM-CEE 1.25 ^φ -2C
○	空調・換気リモコン	

※特記なきドレン配管は25Aとする。
※制御線(EM-EEF 1.6-3C)は冷媒管共巻きとする。

特記事項	株式会社 別当設計	管理建築士	管理技術者	設計者	工事名称	設計年月日	機軸 図	工事種別 機械設備工事
	1級建築士事務所宮崎県知事登録 F-1984号 1級建築士登録第278449号 別当 幸宣				高鍋農業高校空調設備改修工事に伴う仮設校舎賃貸借	令和4年8月		
					図面名称 空調換気設備 平面図	縮尺 A1: S=1/150 A3: S=1/300		